授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
食科学の応用	演習	2	選択	必修	必修	2年・後期	食物栄養科教員ほか
科目コード　ＳｇＡＡＢ20006							担当形態：複数

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	各科目での自己の問題点を明らかにするとともに、その解決に努めながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	栄養士に必要な基礎知識を再度整理して確認するとともに、栄養士としての資質向上を目指し、幅広く深い知識の修得を目的とする。
到達目標	栄養士に必要なすべての知識を総合的に理解し、身に付ける。
授業の進め方	講義及び栄養士実力認定試験過去問題の演習、プリント配付により授業を進める。

第　1　回　　オリエンテーション
【学修内容】　授業概要の説明、栄養士実力認定試験について
【事前学修】　シラバスに目を通しておく。全科目の教科書および配付資料、ノートを確認する。（1時間）
【事後学修】　全科目の教科書および配付資料、ノートを確認する。（3時間）

第　2　回　　公衆衛生学
【学修内容】　公衆衛生学のまとめ
【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間）
【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し解決する。（2時間）

第　3　回　　社会福祉概論
【学修内容】　社会福祉概論のまとめ
【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間）
【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し解決する。（2時間）

第　4　回　　解剖・生理学
【学修内容】　解剖・生理学のまとめ
【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間）
【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し解決する。（2時間）

第　5　回　　生化学
【学修内容】　生化学のまとめ
【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間）
【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し解決する。（2時間）

第　6　回　　食品学総論
【学修内容】　食品学総論のまとめ
【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間）
【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し解決する。（2時間）

授業計画	第 7 回　食品学各論（食品加工学を含む） 【学修内容】　食品学各論（食品加工学を含む）のまとめ 【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し解決する。（2時間） 第 8 回　食品衛生学 【学修内容】　食品衛生学のまとめ 【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し解決する。（2時間） 第 9 回　栄養学総論 【学修内容】　栄養学総論のまとめ 【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し解決する。（2時間） 第10 回　栄養学各論（応用栄養学） 【学修内容】　栄養学各論（応用栄養学）のまとめ 【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し、解決する。（2時間） 第 11 回　臨床栄養学概論 【学修内容】　臨床栄養学概論のまとめ 【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し、解決する。（2時間） 第12 回　栄養指導論 【学修内容】　栄養指導論のまとめ 【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し、解決する。（2時間） 第13 回　公衆栄養学概論 【学修内容】　公衆栄養学概論のまとめ 【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し、解決する。（2時間） 第14 回　調理学 【学修内容】　調理学のまとめ 【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し、解決する。（2時間） 第15 回　給食管理論（給食計画論、給食実務論を含む） 【学修内容】　給食管理論（給食計画論、給食実務論を含む）のまとめ 【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し、解決する。（2時間）
評価方法	筆記試験（70%）、平常点（30%）平素の受講態度を加味する。
教科書	栄養士実力認定試験過去問題集（一般社団法人全国栄養士養成施設協会編、建帛社）
参考書 参考資料等	授業の中で適宜紹介する。
備考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
芸術鑑賞・教養講座Ⅱ	演習	1	必修			2年・通年	食物栄養科教員　ほか
科目コード　SGZZB10009							担当形態：オムニバス

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。 本学キャンパスで行われる特別授業・講演や学外での芸術鑑賞・特別講座等を含むため各自開講日時を確認して受講すること。
授業の目的・概要	美術や音楽等の芸術を鑑賞し知性や感性を磨く。また、社会で求められるマナーや知識を身に付け、常識や教養を高める。 芸術鑑賞　（美術館やコンサートホール等で実際に鑑賞する。） 教養講座　（時代の流れに即した内容をテーマにした講演会を受講する。） 特別授業　（外部講師による特別に開講される授業を受講する。） マナー講座（社会で求められているマナーに関する授業を受講する。）
到達目標	①　美術や音楽等の芸術を鑑賞し、知性や感性を磨き、豊かな教養を身に付ける。 ②　社会で求められているマナーや知識を身に付け、女性としての常識や教養を身に付ける。
授業の進め方	各回のテーマに添った講演・講座の受講、美術・音楽等の鑑賞をする。 レポート・ワークシートを作成する。
授業内容	第　1　回　オリエンテーション 【学修内容】　授業概要の説明、レポートの書き方 【事前学修】　シラバスに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　レポートの書き方を復習する。（0.5時間） 第　2　回～第14回　芸術鑑賞、教養講座、特別授業、マナー講座等 【学修内容】　実際に美術館やコンサートホールに赴き、美術や音楽等の芸術鑑賞を行い知性や感性を磨く。時代の流れに即した内容をテーマにした講演会を受講し、教養を身につける。外部講師による特別に開講される授業を受講し、見識を深める。社会で求められているマナーに関する授業を受講し、社会人としての知識や技術を身に付ける。 ※具体的な内容については、その都度授業前に公示する。 【事前学修】　公示されたテーマについて文献やインターネット等を活用し調べる。（授業1回につき0.5時間） 【事後学修】　学修内容について振り返り、感想や興味を持った事柄について考察しレポート等にまとめる。（授業1回につき0.5時間） 第 15 回　まとめ 【学修内容】　本科目で学んだことを振り返る。 【事前学修】　これまでの授業を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　学修内容、感想等をレポートにまとめる。（0.5時間）
評価方法	レポート等（50%）、平常点（50%） 平素の受講態度等を加味する。
教科書	使用しない。
参考書 参考資料等	適宜紹介する。
備考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
英語Ⅲ	演習	2	選択	選択	選択	2年・前期	盛合 直人
科目コード　SgaaB20014							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	英語Ⅰ、英語Ⅱの単位を修得した者に限る。
授業の目的・概要	Simple conversation and communication skills （ speaking, listening, reading and writing） will be developed in a group environment using practical travel situations. Portfolio should be submitted every time and Quizzes will be given regularly. （英語Ⅰ、Ⅱで学んだ文法表現をおさらいし、旅行英会話に挑戦する。） （毎時間ポートフォリオの提出と定期的に会話表現の確認を行う。）
到達目標	Students will be able to perform a variety of oral communicative tasks. （様々な場面における英語力向上を目指す。）
授業の進め方	プリント等を使用しながら授業を進める。 レベルや到達度、修得状況に応じて進めていく。 発表・レポート提出など適宜実施する。
	第 1 回　Talking about travel experiences 【学修内容】　旅の経験や思い出を述べる 【事前学修】　自分の旅の思い出をまとめておく。（2時間） 【事後学修】　自分の発表だけでなく他者の発表を聴き表現について理解を深める。（2時間） 第 2 回　At airport immigration and customs 【学修内容】　空港の入国と税関 【事前学修】　海外旅行の際の入港や税関でのやり取りを事前に調べておく。（2時間） 【事後学修】　スキットを確認し会話内容の理解を深める。（2時間） 第 3 回　Asking and following directions 【学修内容】　道順を尋ねたり、説明したりする 【事前学修】　道順の説明方法や位置関係に関する表現を確認しておく。（2時間） 【事後学修】　理解しやすい説明や表現を復習する。（2時間） 第 4 回　Making reservations 【学修内容】　ホテルやレストラン飛行機などの予約をする 【事前学修】　予約に関する表現を事前に調べておく。（2時間） 【事後学修】　スキットを確認し会話内容の理解を深める。（2時間） 第 5 回　At restaurant 1（order, recomendations） 【学修内容】　レストランでの注文など 【事前学修】　レストランでの注文の仕方や、お勧めを尋ねる表現を調べておく。（2時間） 【事後学修】　店員とのやり取りや、注文の仕方を理解する。（2時間） 第 6 回　At restaurant 2（menue, trouble and payment） 【学修内容】　料理とメニュー、トラブルや会計など 【事前学修】　レストランで想定されるトラブルや支払い方法を調べておく。（2時間） 【事後学修】　スキットを通してトラブルの対処や支払いでの表現を確認する。（2時間） 第 7 回　Making skit and rollplay　1 【学修内容】　スキットを作成しロールプレイする 1 【事前学修】　自分で場面を想定しスキットを準備しておく。（2時間） 【事後学修】　それぞれのスキットの要点を理解する。（2時間）

授業計画	第 8 回　Shopping 1（find out items and to try on clothes） 【学修内容】　商品を探す、試着する 【事前学修】　洋品店の店員とのやり取りを事前に考察しておく。（2時間） 【事後学修】　サイズ・色・形・好みの表現を復習する。（2時間） 第 9 回　Shopping 2（discount negotiation or bargaining / trouble and customer service） 【学修内容】　値引き交渉と割引 / トラブルとお客様相談窓口 【事前学修】　値引きの依頼表現について事前に調べておく。（2時間） 【事後学修】　様々な値引き表現やトラブル相談の表現を理解する。（2時間） 第10 回　Making skit and rollplay　2 【学修内容】　スキットを作成しロールプレイする 2 【事前学修】　自分で場面を想定しスキットを準備しておく。（2時間） 【事後学修】　それぞれのスキットの要点を理解する。（2時間） 第 11 回　At hospital　（receiving medical examination） 【学修内容】　病院での診察や病状を伝える 【事前学修】　症状を伝える表現を調べておく。（2時間） 【事後学修】　スキットを確認し会話内容の理解を深める。（2時間） 第12 回　At pharmacy and drugstore 【学修内容】　薬局とドラッグストア 【事前学修】　病院からの指示や処方箋などの表現を調べておく。（2時間） 【事後学修】　スキットを確認し会話内容の理解を深める。（2時間） 第13 回　Making travel plan 【学修内容】　旅行の計画を立てる 【事前学修】　自分の旅の計画案を考えておく。（2時間） 【事後学修】　順序だてて表現する方法や表現の理解を深める。（2時間） 第14 回　Presentation 【学修内容】　旅行の計画を発表する 【事前学修】　計画案の精査をしておく。（2時間） 【事後学修】　自分の発表だけでなく他者の発表を聴き、表現について理解を深める。（2時間） 第15 回　Review 【学修内容】　まとめ 【事前学修】　既習事項について確認しておく。（2時間） 【事後学修】　既習事項を振り返り様々な表現について復習する。（2時間）
評価方法	Grading will be based on participation attendance, group presentation and examination. ポートフォリオ（30%）、レポート（25%）、授業の取り組み・発表（45%）を総合的に評価する。
教科書	使用しない。
参考書 参考資料等	“Talk a Lot” by David Martin（EFL Press） English conversation for beginners by Kuwahara kenji（Natsume Press）
備考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
体育理論	講義	1	選択	選択	必修	2年・通年	渡邊　望
科目コード　SgaAA10015							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。
授業の目的・概要	生涯にわたり心身ともに健康な体であるための基本的な知識の理解を深めるとともに、生活習慣の見直しができるようにすることで、自らの健康を管理するだけでなく、より健康的なライフスタイルを確立できる能力を養う。 また、女性の体のしくみや、心と体の関連性について学び、健康づくりの一助となることを目的とする。
到達目標	①　健康の保持・増進をするための基本的な知識を身に付け、心身の健康を自ら管理できるようにする。 ②　からだのしくみや機能について理解を深め、体内のリズムに合った正しい生活習慣を身に付ける。 ③　女性としての体のしくみについて理解する。
授業の進め方	必要な資料は、プリントを配付し、パワーポイントを使用して授業を進めていく。
授業計画	第　1　回　オリエンテーション・健康の捉え方 【学修内容】　健康とはなにか・健康を管理する体内リズムと生活リズム 【事前学修】　健康とは何か自分の考えをまとめる。（2時間） 【事後学修】　体内リズムを理解し、正しい生活習慣を身に付けるためにどのようにすればよいかまとめる。（2時間） 第　2　回　からだのしくみや機能① 【学修内容】　骨の新陳代謝・血液循環とリンパ 【事前学修】　授業で配付した資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習してノートにまとめ、骨の新陳代謝・血液循環とリンパについて理解を深める。（2時間） 第　3　回　からだのしくみや機能② 【学修内容】　消化のリズム・肌と毛髪のサイクル 【事前学修】　授業で配付した資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習してノートにまとめ、消化と排泄・肌と毛髪のサイクルについて理解を深める。（2時間） 第　4　回　からだのしくみや機能③ 【学修内容】　体温調節と熱中症 【事前学修】　授業で配付した資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習してノートにまとめ、体温調節と熱中症について理解を深める。（2時間） 第　5　回　女性の健康① 【学修内容】　飲酒・喫煙について 【事前学修】　授業で配付した資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習してノートにまとめ、飲酒と喫煙について理解を深める。（2時間） 第　6　回　女性の健康② 【学修内容】　ダイエットについて 【事前学修】　授業で配付した資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習してノートにまとめ、ダイエットについて理解を深める。（2時間） 第　7　回　女性の健康③ 【学修内容】　女性ホルモンについて 【事前学修】　授業で配付した資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習してノートにまとめ、女性ホルモンの働きについて理解を深める。（2時間）

	第 8 回　　メンタルヘルス 【学修内容】　ストレスと健康について 【事前学修】　授業で配付した資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習してノートにまとめ、メンタルヘルスついて理解を深める。（2時間）
評価方法	提出物（60%）、筆記試験（小テストを含む）（30%）、平常点（10%） 平素の受講態度や課題の取組み等を加味する。
教科書	使用しない。
参考書 参考資料等	適宜紹介する。
備考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
体育実技	実技	1	選択	選択	必修	2年・通年	渡邊　望
科目コード　SgaAC10016							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。 運動ができる服装（ジャージ等）で参加すること。使用する用具の準備や後片付けを積極的に行うこと。 ピアス・ネックレス等の装飾品は、自他ともにケガ防止のためはずすこと。
授業の目的・概要	①　心身ともに健康であるためには、運動やスポーツを主体的に行うことが不可欠の要件であることから、各種の運動種目を通じて、自らが体を動かす楽しさを味わい、生涯にわたって運動の習慣を身に付ける。また、自己の体力向上に効果的な運動を行うとともに自分に合ったスポーツライフを実現できる。 ②　ゲーム形式を通じて仲間と協力し、体を動かす楽しさを共有することで交流を深め、コミュニケーションを図る。
到達目標	①　運動の楽しさや喜びを味わい、自ら進んで運動に取り組むことができる。 ②　自己の体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付け実践することができる。 ③　仲間と協力してスポーツを楽しめる能力を身に付ける。
授業の進め方	ウォーミングアップとしてラジオ体操や体づくりのトレーニング、ストレッチ等でしっかり体を動かしてから各運動種目を行う。

第　1　回　オリエンテーション
【学修内容】　シラバスに沿って授業概要、主旨、評価方法の説明と運動の効果を学ぶ。
【事前学修】　授業前にシラバスに目を通しておく。（0.5時間）
【事後学修】　本授業の概要と目標について理解を深め、授業の感想や次回の目標をまとめる。（0.5時間）

第　2　回　体力測定・ラジオ体操
【学修内容】　ラジオ体操・体力測定「柔軟性、上体起こし、平衡性、縄跳び」
【事前学修】　授業で配付された資料「ラジオ体操の動きと運動の効果」に目を通しておく。（0.5時間）
【事後学修】　ラジオ体操の運動効果について理解を深め、授業の感想や次回の目標をまとめる。（0.5時間）

第　3　回　レクリエーション①
【学修内容】　からだほぐし運動、仲間づくりレクリエーション
【事前学修】　授業内で配付された資料「体ほぐし運動」に目を通しておく。（0.5時間）
【事後学修】　からだほぐし運動の効果について理解を深め、授業の感想や次回の目標をまとめる。（0.5時間）

第　4　回　レクリエーション②
【学修内容】　ミニ運動会「リレー・玉入れ・綱引き」
【事前学修】　授業内で行ったラジオ体操やストレッチングを自宅でもできる範囲で取り組む。（0.5時間）
【事後学修】　運動を通して仲間と協力し、楽しさを味わうことができたか振り返る。（0.5時間）

第　5　回　ボール運動
【学修内容】　ボールを使った運動
【事前学修】　授業内で行ったラジオ体操やストレッチングを自宅でもできる範囲で取り組む。（0.5時間）
【事後学修】　運動を通して仲間と協力し、楽しさを味わうことができたか振り返る。（0.5時間）

第　6　回　ボールゲーム①
【学修内容】　ドッヂボール
【事前学修】　授業で配付された資料「いろいろなドッヂボール」に目を通しておく。（0.5時間）
【事後学修】　ドッヂボールのルールやゲームの中で養われる運動能力について理解を深める。（0.5時間）

第　7　回　ボールゲーム②
【学修内容】　パスゲーム
【事前学修】　授業内で行ったラジオ体操やストレッチングを自宅でもできる範囲で取り組む。（0.5時間）
【事後学修】　運動を通して仲間と協力し、楽しさを味わうことができたか振り返る。（0.5時間）

第　8　回　縄跳び
【学修内容】　縄を使った運動
【事前学修】　授業で配付された資料「なわとび跳び方一覧」に目を通しておく。（0.5時間）
【事後学修】　縄跳び運動の効果、跳び方やポイントについて理解を深める。（0.5時間）

第　9　回　長縄跳び
【学修内容】　長縄跳び、ダブルダッチ
【事前学修】　ダブルダッチの映像資料に目を通しておく。（0.5時間）
【事後学修】　縄跳び運動の効果、跳び方やポイントについて理解を深める。（0.5時間）

授　業　計　画	第10 回　有酸素運動① 【学修内容】　ウォーキングの正しいフォーム 【事前学修】　授業で配付された資料「ウォーキングの正しいフォーム」に目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　ウォーキングの正しいフォームを理解し、ウォーキングを楽しめたか振り返る。（0.5時間） 第 11 回　有酸素運動② 【学修内容】　エアロビクスで有酸素運動 【事前学修】　有酸素運動について調べ、リズム感を意識して好きなダンスミュージックを聞く。（0.5時間） 【事後学修】　エアロビクスの運動効果と有酸素運動について理解を深める。（0.5時間） 第12 回　バドミントン① 【学修内容】　ルール理解・チーム作り 【事前学修】　バドミントンのルール全般を調べ、自分のバドミントン経験を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　バドミントンのルールを理解し、授業の感想や次回の目標をまとめる。（0.5時間） 第13 回　バドミントン② 【学修内容】　ダブルス戦 【事前学修】　バドミントンダブルスルール全般を調べ、ストレッチングでからだのケアと体調管理に努める。（0.5時間） 【事後学修】　バドミントンダブルスルールを理解し、授業の感想や次回の目標をまとめる。（0.5時間） 第14 回　バドミントン③ 【学修内容】　シングルス戦 【事前学修】　バドミントンシングルスルール全般を調べ、ストレッチングでからだのケアと体調管理に努める。（0.5時間） 【事後学修】　バドミントンシングルスルールを理解し、授業の感想や次回の目標をまとめる。（0.5時間） 第15 回　ミニバレー① 【学修内容】　ルール理解・チーム作り 【事前学修】　ミニバレールール全般を調べ、自分の運動経験を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　ミニバレールールを理解し、授業の感想や次回の目標をまとめる。（0.5時間） 第16 回　ミニバレー② 【学修内容】　練習試合 【事前学修】　ミニバレーで使用するボールの特徴を意識して自分の課題を明確にする。（0.5時間） 【事後学修】　ミニバレーを通して仲間と協力したり楽しさを味わうことができたか振り返る。（0.5時間） 第17 回　ミニバレー③ 【学修内容】　チーム戦 【事前学修】　仲間と協力してプレーするにはどのようにすればよいか考える。（0.5時間） 【事後学修】　ミニバレーを通して仲間と協力したり楽しさを味わうことができたか振り返る。（0.5時間） 第18 回　バレーボール① 【学修内容】　サーブ・レシーブ練習 【事前学修】　バレーボールのサーブ・レシーブのポイントを調べる。（0.5時間） 【事後学修】　バレーボールのサーブ・レシーブのポイントを理解し、次回の目標をまとめる。（0.5時間） 第19 回　バレーボール② 【学修内容】　パス練習・ラリーボール 【事前学修】　授業で配付する「ラリーボールのルール」に目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　ラリーボールのルールと練習の効果を理解し、次回の目標をまとめる。（0.5時間） 第20 回　バレーボール③ 【学修内容】　チーム戦 【事前学修】　仲間と協力してプレーするにはどのようにすればよいか考える。（0.5時間） 【事後学修】　バレーボールを通して仲間と協力し、楽しさを味わうことができたか振り返る。（0.5時間） 第21 回　体力測定 【学修内容】　体力測定「柔軟性、上体起こし、平衡性、縄跳び」縄跳び発表（個人課題） 【事前学修】　授業内で行ったラジオ体操やストレッチングを自宅でもできる範囲で取り組む。（0.5時間） 【事後学修】　第２回目に行った測定の結果と比較し、自己の課題を明確化する。（0.5時間） 第22 回　まとめ 【学修内容】　振り返りとリクエスト 【事前学修】　今まで実施したスポーツを振り返り、もう一度実践したいスポーツを考えておく。（0.5時間） 【事後学修】　授業で経験した運動やスポーツから学んだことや感じたことをまとめ、健康の保持・増進のために自身がどのように行動すればよいかまとめる。（0.5時間）
評　価　方　法	平常点（７０％）、技能点（３０％） 授業運営においての積極的に取り組む態度等を加味する。
教　　科　　書	使用しない。
参　　考　　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
公衆衛生学	講義	2	選択	必修	必修	2年・前期	中村佳苗
科目コード　SgAAA20101							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	感染症や母子保健等将来、栄養士としての業務に活かせることを念頭に置きながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	栄養士として疫学、健康の指標、感染症、生活環境、医療制度、生活習慣病、難病、母子保健及び健康教育に対する考え方と関連する法律の基本的事項を修得する。
到達目標	健康増進、健康の多要因、人口問題、母子保健、生活習慣病、健康教育等多種多様な公衆衛生の問題に対する栄養を介してのアプローチと地域保健活動における栄養士の役割を理解し、実践する基礎的知識を修得させる。
授業の進め方	教科書を中心に、現実の公衆衛生に関する社会問題等を交えて講義を進める。

第　1　回　　公衆衛生とは（公衆衛生の概念、健康の概念、公衆衛生の歴史）
【学修内容】　公衆衛生学の概念と歴史について理解する。
【事前学修】　教科書第1章に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間）
第　2　回　　健康と環境、（環境の健康への影響）
【学修内容】　地球環境の健康に影響を及ぼす要因について理解する。
【事前学修】　教科書第2章に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間）
第　3　回　　保健統計（人口問題、人口動態調査等各種統計）
【学修内容】　保健統計を通して人口問題を理解する。
【事前学修】　教科書第3章に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間）
第　4　回　　疾病の測定（疫学）
【学修内容】　疫学の概念と種類を理解する。
【事前学修】　教科書第4章に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間）
第　5　回　　生活習慣と健康（健康日本21）
【学修内容】　健康日本21と生活習慣について理解する。
【事前学修】　教科書第5章に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間）
第　6　回　　主要疾患（ガン・循環器疾患など）
【学修内容】　がん・循環器疾患・代謝疾患などを理解する。
【事前学修】　教科書第6章に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間）
第　7　回　　感染症とその予防（感染症の種類、感染予防）
【学修内容】　感染症の種類と感染予防について理解する。
【事前学修】　教科書第7章に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間）

授　業　計　画	第　８　回　　精神疾患（主な精神疾患と対策） 【学修内容】　主な精神疾患と福祉対策を理解する。 【事前学修】　教科書第８章に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第　９　回　　社会保障、医療制度（社会保障の概要と医療） 【学修内容】　社会保障の概要と医療制度について理解する。 【事前学修】　教科書第９章と第１０章に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第10　回　　社会福祉制度（年金制度・各種社会福祉制度） 【学修内容】　年金制度と各種福祉制度を理解する。 【事前学修】　教科書第１１章に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第11　回　　母子保健（母子保健の現状と課題） 【学修内容】　母子保健の現状と課題について理解する。 【事前学修】　教科書第１３章に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第12　回　　高齢者保健と介護保険制度 【学修内容】　高齢者保健と介護保険について理解する。 【事前学修】　教科書第１５章に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第13　回　　産業保健（労働災害と対策） 【学修内容】　労働災害とその対策について理解する。 【事前学修】　教科書第１６章に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第14　回　　学校保健と国際保健 【学修内容】　学校保健と安全、国際保健（各国の疾患やSDGｓ）について理解する。 【事前学修】　教科書第１７章と第１８章に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第15　回　　まとめ 【学修内容】　公衆衛生学全般について復習を行う。 【事前学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
評　価　方　法	筆記試験（90%）、そのほか必要に応じ小テストや平素の受講態度を加味する（10%）。
教　　科　　書	公衆衛生学（中村信也編著、同文書院）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	統計資料、法規等の抜粋は必要に応じて配付する。
備　　考	実務経験のある教員：北海道内の保健所における公衆衛生に関する実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
解剖生理学実習	実習	1	選択	選択	選択	2年・前期	福　本　真一郎
科目コード　SgaaC20203							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。 無遅刻、無欠席を基本とする。
授業の目的・概要	解剖学、生理学で学ぶ内容は、観察や実験に基づいて得られたものである。そのため、観察と実験を基本とする実習を行うことによって、教科書の記述や講義の内容がよく理解できることになる。 実習によって、教科書だけでは学べない内容を知り、確かめることができる。実習を行う意義を理解し、実習を通して事実の観察と確認を行い、正確な人体の形態・構造と生理的機能について理解を深めることが大切である。
到達目標	①　実習を通して解剖学と生理学で学んだ知識の理解を深める。 ②　人体の形態と構造について顕微鏡標本などを用いての観察をおこなう。及び生理機能検査で使用する計測機器とその基本的操作方法を理解する。 ③　実験結果に基づく考察力を養う。
授業の進め方	初めに解剖学、生理学の講義で学んだことを復習し、続いて実習の目的や内容、方法、手技を説明してから実習を行う。本実習では、映像（DVD、パワーポイント等）教材も併用する。

第　1　回　　実習についてのオリエンテーション、生命誕生の仕組みと人体の発生過程
【学修内容】　実習全体の概要の説明　DVD「生命の誕生」聴講
【事前学修】　解剖学の総説部分の復習　（0.5時間）
【事後学修】　授業資料と解剖学の総説部分の復習　（1時間）
第　2　回　　人体器官の観察　Ⅰ　上肢の骨格の観察
【学修内容】　人体模型と映像による肉眼的観察
【事前学修】　自己身体と骨格標本による上肢の骨及び関節等の観察　（0.5時間）
【事後学修】　レポート作成　教科書・授業資料の復習　（1時間）
第　3　回　　人体器官の観察　Ⅱ　下肢の観察
【学修内容】　自己身体と骨格標本による下肢の骨及び関節等の観察
【事前学修】　解剖学教科書の復習　（0.5時間）
【事後学修】　レポート作成　教科書等の復習　（1時間）
第　4　回　　人体器官の観察　Ⅲ　上肢下肢等の骨格筋の観察
【学修内容】　全身の骨格筋の体表解剖学的観察
【事前学修】　解剖学教科書の復習　（0.5時間）
【事後学修】　レポート作成　教科書の復習　（1時間）
第　5　回　　循環器系
【学修内容】　脈拍と血圧の変動とその変動要因の関係
【事前学修】　解剖学・運動生理学の循環器系の復習　（0.5時間）
【事後学修】　実験データのレポート作成　教科書等の復習　（1時間）
第　6　回　　血液・造血器系
【学修内容】　血液塗抹標本による血液細胞の顕微鏡による観察
【事前学修】　解剖学の「血液」の復習　（0.5時間）
【事後学修】　レポート作成　教科書等の復習　（1時間）
第　7　回　　呼吸器系
【学修内容】　呼吸停止（息こらえ）試験、肺気量の測定
【事前学修】　解剖学・運動生理学の循環器系の復習　呼吸器系の復習　（0.5時間）
【事後学修】　実験データのレポート作成　（1時間）

授業計画	第 8 回　消化器系　Ⅰ 【学修内容】　唾液消化試験（口腔内消化）アミラーゼ消化試験 【事前学修】　消化器系の復習　消化酵素　（0.5時間） 【事後学修】　実験データのレポート作成教科書等の復習　（1時間） 第 9 回　消化器系　Ⅱ　腸管の構造の観察 【学修内容】　消化管（小腸）組織の顕微鏡による観察 【事前学修】　解剖学　消化器系の復習　（0.5時間） 【事後学修】　教科書等の復習　レポートの作成　（1時間） 第 10 回　消化器系　Ⅲ 【学修内容】　肝臓と膵臓組織の顕微鏡による観察 【事前学修】　肝臓と膵臓の解剖学の復習　（0.5時間） 【事後学修】　教科書等の復習　レポートの作成　（1時間） 第 11 回　消化器系　Ⅳ 【学修内容】　肝臓機能の映像学習　DVD　肝の聴講 【事前学修】　肝臓の項目を復習　（0.5時間） 【事後学修】　教科書等の復習　レポートの作成　（1時間） 第 12 回　泌尿器系 【学修内容】　腎臓組織の顕微鏡による観察 【事前学修】　解剖学　泌尿器系の復習　（0.5時間） 【事後学修】　観察結果のレポート作成　教科書等の復習　（1時間） 第 13 回　学外実習 【学修内容】　標本館見学（札幌医科大学）現地にて説明を受ける。 【事前学修】　解剖学・運動生理学の復習（0.5時間） 【事後学修】　レポート作成　（1時間） 第 14 回　食材の食中毒要因の解剖学的実習 【学修内容】　海産魚のアニサキス検査 【事前学修】　食品衛生学的に重要な食中毒について予習（0.5時間） 【事後学修】　レポートの作成　（1時間） 第 15 回　感覚器系 【学修内容】　皮膚感覚（圧・触点試験、二点弁別試験）神経系　背髄反射試験、小脳機能検査に付いて実施 【事前学修】　解剖学で皮膚　感覚器の項を復習　（0.5時間） 【事後学修】　教科書等の復習　レポートの作成　（1時間）
評価方法	レポート（60%）、平素の受講態度（40%）
教科書	プリント教材
参考書 参考資料等	イラスト解剖生理学実験（青峰正裕ほか著、東京教学社）
備考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
生化学実験	実験	1	選択	必修	必修	2年・後期	舟根 和美
科目コード　SgAAC20205							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士など食に関係する業務に活かすことを意識し、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	目的 生化学の講義で学んだ生体を構成する物質の性質や機能について，実験を通じて実体としての理解を深め、理論と技術を体系的に理解する。 授業概要 ① 生体試料の基本的な取り扱い方および分析方法について教授する。 ② 生体物質の定性および定量分析について教授する。 ③ 酵素の働きを定性的な分析を通じて理解する。
到達目標	生化学実験の理論、専門的技術の修得を目標とする。 ① 生体試料の基本的な取り扱い方及び分析方法を修得する。 ② 生体物質の定性及び定量分析について学修する。 ③ 酵素反応の定性分析法について理解する。
授業の進め方	実験の目的、学術的背景、実験方法や注意点を教授したうえで、実験の作業を実施する。実験操作の観察、実験報告書の内容等から知識と技術の到達度を把握し、未到達の部分は適宜指導する。
	第 1回　器具練習 【学修内容】　実験器具の使い方を学ぶ 【事前学修】　メスピペットの使い方を復習する。（1時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（2時間） 第 2回　タンパク質の定量1 【学修内容】　検量線の作成と野菜からの抽出液の調製 【事前学修】　タンパク質について復習する。（1時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（2時間） 第 3回　タンパク質の定量2 【学修内容】　未知試料のタンパク質濃度の定量 【事前学修】　タンパク質について復習する。（1時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（2時間） 第 4回　核酸の分析 【学修内容】　コメからのゲノムDNAの調製 【事前学修】　核酸について復習する。（1時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（2時間） 第 5回　核酸の抽出 【学修内容】　制限酵素によるDNAの切断 【事前学修】　遺伝子工学について復習する。（1時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（2時間） 第 6回　核酸断片の分析 【学修内容】　電気泳動による核酸の分析 【事前学修】　核酸について復習する。（1時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（2時間） 第 7回　澱粉の観察1 【学修内容】　澱粉を調製する。 【事前学修】　糖質 （多糖） について復習する。（1時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（2時間）

授　業　計　画	第 8回　澱粉の観察2 【学修内容】　調製した澱粉粒を顕微鏡で観察する。 【事前学修】　糖質 （多糖） について復習する。（1時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（2時間） 第 9回　糖質の酵素分解 【学修内容】　澱粉を2種類の異なる酵素で分解し、物性の変化を観察する。 【事前学修】　糖質と酵素について復習する。（1時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（2時間） 第10回　糖の定性 【学修内容】　澱粉の酵素分解物をTLCにより分析する。 【事前学修】　糖質と酵素について復習する。（1時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（2時間） 第11回　還元糖の定量 【学修内容】　澱粉の酵素分解物中の還元糖量を定量する。 【事前学修】　糖質と酵素について復習する。（1時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（2時間） 第12回　糖質の機能 【学修内容】　シクロデキストリンによる化合物の包接 【事前学修】　糖質 （オリゴ糖） について復習する。（1時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（2時間） 第13回　レバーからの脂質の抽出 【学修内容】　レバーから中性脂肪を抽出する。 【事前学修】　脂質について復習する。（1時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（2時間） 第14回　中性脂肪の定量 【学修内容】　中性脂肪を定量する。 【事前学修】　脂質について復習する。（1時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（2時間） 第15回　まとめ 【学修内容】　生化学で学んだ知識を統合し、実際の食品への利活用を考える。 【事前学修】　生化学、実験で学んだことを総合的に復習する。（1時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（2時間）

評　価　方　法	平常点、実験報告書、提出課題、平素の受講態度等（100%）。

教　　科　　書	プリントを毎回配付する。

参　　考　　書 参 考 資 料 等	授業の中で適宜紹介する。

備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
運動生理学	講義	2	選択	必修	必修	2年・後期	福　本　真一郎
科目コード　ＳｇＡＡＡ20206							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭に置きながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	我々の健康は栄養、運動、休養の適切なバランスの上に成り立っており、生活習慣病、運動器疾患等の疾病予防には日常生活における運動の重要性が指摘されている。これらを背景として将来栄養士として幅広い分野において活用できる身体運動の生理学的基礎と、健康及び体力の維持・増進をもたらす適切な運動の実施法や運動処方について学ぶことは重要である。一年時に学修した人体解剖学の基礎的な情報と関連付けて生理学の基本的な情報を学修する。
到達目標	①　身体運動の生理学的基礎知識を理解し、説明することができる。 ②　運動時のエネルギーや栄養素の代謝について理解し、説明することができる。 ③　健康及び体力の維持・増進における運動の重要性や実施方法を説明できる。
授業の進め方	授業はパワーポイントと配付資料を用いて進める。

第　1　回　　オリエンテーション
【学修内容】　運動生理学の概要　食物栄養学としての取り組みの説明
【事前学修】　解剖学　特に運動器系（筋肉系　消化器系）の復習　（２時間）
【事後学修】　配付資料等を参照による復習　（２時間）
第　2　回　　筋収縮とエネルギー供給系
【学修内容】　骨格筋の収縮の基本的な情報を学修する。最も基本的な筋収縮のメカニズムを学修する。Ｐ1-10
【事前学修】　教科書　第1章を熟読。解剖学の骨格筋を復習しておくこと。（2時間）
【事後学修】　教科書　資料を復習する。（2時間）
第　3　回　　筋繊維の種類とその特徴
【学修内容】　骨格筋を中心に構成する筋繊維の特徴を学修する。Ｐ12-18
【事前学修】　教科書　第2章　筋繊維の特徴を熟読。（2時間）
【事後学修】　教科書　資料を復習する。（2時間）
第　4　回　　神経系の構造と種類
【学修内容】　骨格筋の運動に関与する神経関連の情報を学修する。　Ｐ21-29
【事前学修】　教科書　第3章　神経系の役割について　解剖学の神経系を復習しておくこと。（2時間）
【事後学修】　教科書や資料を復習する。（2時間）
第　5　回　　筋の収縮様式と筋力
【学修内容】　第1章の骨格筋の収縮機構をさらに深く学修する。　Ｐ32-40
【事前学修】　教科書　第4章　筋の収縮様式と筋力　　特にトレーニングによる筋肉構造の変化について熟読。（2時間）
【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間）
第　6　回　　運動と循環・運動と呼吸
【学修内容】　筋肉の運動に関連する循環器系について学修する。　ｐ44-48
【事前学修】　教科書　第5章　運動と循環　解剖学の循環器系を復習しておくこと。（2時間）
【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間）
第　7　回　　運動と呼吸
【学修内容】　運動と呼吸器系の関連を学修する。　ｐ51-61
【事前学修】　教科書　第6章　呼吸器系について　解剖学も復習しておくこと。（2時間）
【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間）

授　業　計　画	第　8　回　　運動とホルモン 【学修内容】　運動に関連するホルモン支配について学修する。　p65-71 【事前学修】　教科書　第7章運動とホルモンについて　解剖学の内分泌も復習しておくこと。（2時間） 【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間） 第　9　回　　筋疲労の要因 【学修内容】　運動に伴う筋疲労の解説　　p76-78 【事前学修】　教科書　第8章　筋疲労の要因　乳酸などの解釈について熟読。（2時間） 【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間） 第 10 回　　運動と体温調節 【学修内容】　運動に伴う体温調節の解説　暑熱対策・熱中症なども関連 【事前学修】　教科書　第9章　運動と体温調節について　p84-89について熟読。（2時間） 【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間） 第 11 回　　運動と栄養 【学修内容】　運動の基本となる栄養に関して解説する。　栄養素についての復習 【事前学修】　教科書　第10章　p92-99　栄養素の復習（2時間） 【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間） 第 12 回　　身体組成と肥満 【学修内容】　健康に悪影響を及ぼす肥満と運動との関連を解説する。 【事前学修】　教科書　第11章　p105-112　第9・10章も復習　（2時間） 【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間） 第 13 回　　運動処方 【学修内容】　健康や体力に関わる運動の効用について解説 【事前学修】　教科書　第１２章　運動による健康への効能　p114-120について熟読。（2時間） 【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間） 第 14 回　　運動と生活習慣病 【学修内容】　国民的問題である生活習慣病の理解と運動の効能について解説 【事前学修】　教科書　第１３章　運動と生活習慣病　p129-136について熟読。（2時間） 【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間） 第 15 回　　老化に伴う身体機能の変化 【学修内容】　高齢化社会の現在 高齢化に伴う身体機能と運動の関係を解説 【事前学修】　教科書　第１４章　老化に伴う身体機能の変化　p142-148について熟読。（2時間） 【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間）
評　価　方　法	課題レポート（90%）、平素の受講態度等（10%）を加味する。
教　　科　　書	入門運動生理学　第４版（勝田茂編著、和田正信・松永智著、杏林書院）
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
食品衛生学実験	実験	1	選択	必修	必修	2年・後期	山岸 和敏 木野村 美花
科目コード　SgAAC20304							担当形態：クラス分け・オムニバス

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	目的 食品の衛生検査と品質検査について、理論と技術を身に付ける。 授業概要 食品の安全性と健全性の確保に必要とされる、衛生検査と品質検査の理論と手法について教授する。
到達目標	食品の各種検査を通して安全性と健全性の観念を体得し、食品の加工、調理に活かすことを目標とする。 ① 食品を扱う専門職を目指す者として、食品の衛生と品質についての倫理観を養う。 ② 食品の衛生検査と品質検査に用いられる、各種手法の有用性と実験操作について学修する。
授業の進め方	実験の目的、科学的背景、実験方法及び注意点を教授した上で、実験の作業を実施する。実験操作の観察、実験報告書の内容等から知識と技術の到達度を把握し、未到達の部分は適宜指導する。

第 1 回　オリエンテーション　（担当：山岸）
【学修内容】　シラバスに沿って、授業概要、主旨、評価方法を説明する。
食中毒予防について学ぶ。
【事前学修】　食品衛生学実験のシラバスを読んでおく。（0.5時間）
【事後学修】　シラバスを参照して本授業の概要と目標について理解を深める。
配付資料「食中毒予防」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）

第 2 回　手指検査　（担当：木野村）
【学修内容】　手指検査について理解する。
【事前学修】　手指検査について調べる。（0.5時間）
【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）

第 3 回　細菌検査の基本操作、環境中の細菌検査　（担当：山岸）
【学修内容】　細菌検査の基本操作、空中落下菌の検査について学ぶ。
【事前学修】　細菌検査の基本操作、環境中の細菌検査について調べておく。（0.5時間）
【事後学修】　配付資料「細菌検査の基本」「空中落下菌の検査」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）

第 4 回　調理器具の細菌検査　（担当：山岸）
【学修内容】　包丁、手指の細菌検査について学ぶ。
【事前学修】　調理器具の細菌検査について調べておく。（0.5時間）
【事後学修】　配付資料「調理器具の細菌検査」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）

第 5 回　野菜の細菌検査　（担当：山岸）
【学修内容】　キャベツの細菌検査について学ぶ。
【事前学修】　野菜の細菌検査について調べておく。（0.5時間）
【事後学修】　配付資料「野菜の細菌検査」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）

第 6 回　乳製品の細菌検査　（担当：山岸）
【学修内容】　発酵乳などの細菌検査について学ぶ。
【事前学修】　乳製品の細菌検査について調べておく。（0.5時間）
【事後学修】　配付資料「乳製品の細菌検査」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）

第 7 回　食品の品質判定　（担当：山岸）
【学修内容】　米、魚肉練り製品などの品質判定について学ぶ。
【事前学修】　食品の品質判定について調べておく。（0.5時間）
【事後学修】　配付資料「食品の品質判定」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）

授業計画	第 8 回　鶏卵の鮮度測定　（担当：山岸） 【学修内容】　鶏卵の比重などによる鮮度測定について学ぶ。 【事前学修】　鶏卵の鮮度測定について調べておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料「鶏卵の鮮度測定」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 9 回　水質検査　（担当：山岸） 【学修内容】　ミネラルウォーターの水質検査について学ぶ。 【事前学修】　水質検査について調べておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料「水質検査」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 10 回　合成着色料の検査　（担当：山岸） 【学修内容】　菓子、飲料に含まれる合成着色料の検査について学ぶ。 【事前学修】　合成着色料の検査について調べておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料「合成着色料の検査」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 11 回　小麦加工品の製造：膨張剤の働きについて　（担当：木野村） 【学修内容】　膨張剤の働きについて理解する。 【事前学修】　膨張剤について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 12 回　大豆加工品の製造：凝固剤の働きについて　（担当：山岸） 【学修内容】　木綿豆腐の製造を通して凝固剤の働きについて学ぶ。 【事前学修】　凝固剤について調べておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料「木綿豆腐」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 13 回　果物加工品の製造：糖蔵と脱気殺菌法について　（担当：木野村） 【学修内容】　糖蔵と脱気殺菌法について理解する。 【事前学修】　糖蔵と脱気殺菌法について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 14 回　缶詰の製造：高圧蒸気滅菌法について　（担当：山岸） 【学修内容】　ゆで小豆の缶詰の製造を通して高圧蒸気滅菌法について学ぶ。 【事前学修】　高圧蒸気滅菌法について調べておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料「ゆで小豆の缶詰」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 15 回　食肉加工品の製造：発色剤の働きについて　（担当：外部講師） 【学修内容】　ソーセージの製造を通して発色剤の働きについて学ぶ。 【事前学修】　発色剤について調べておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料「食肉加工」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）
評価方法	平常点、実験報告書、提出課題、平素の受講態度等（100%）。
教科書	プリントを毎回配付する。
参考書 参考資料等	授業の中で適宜紹介する。
備考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
栄養学実習	実習	1	選択	必修	必修	2年・後期	嶋田 祐子
科目コード　SgAAC20403							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	各ライフステージに適した栄養素の摂取と望ましい食習慣について総合的にとらえ、対象者の健康の維持増進及び疾病予防を目指すための基本的な知識と実践力を養う。
到達目標	① 各ライフステージ別の形態的・機能的な特徴をふまえ、栄養素の摂取目標を説明できる。 ② 食事摂取基準量を学び、献立作成に応用できる。 ③ 各ライフステージの身体状況の特性を把握し、適した食事の献立作成、調理方法を理解し、実習を通して実践力を養う。 ④ 様々な食材の特徴、栄養素、調理特性を理解し、献立作成に反映させる。
授業の進め方	講義：教科書・配付プリントを用い、各ライフステージの特徴、食事摂取基準量、調理方法を説明し、献立作成を行う。 実習：各ライフステージの学生が作成した献立の中から代表者を選び、その献立の調理実習を行う（学生献立実習）。 学生献立実習では、献立作成学生主導の下、実習が行われる。実習後、調理レポート（感想及び考察）を作成する。
	第 1 回　オリエンテーション、栄養マネジメント（講義） 【学修内容】　授業概要とガイダンス及び調理の基礎と栄養マネジメントについて理解する。 【事前学修】　教科書（応用栄養学実習）のP2～18を読み、予習をしておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料と教科書内容を復習し、理解できなかった内容は次回質問する。（0.5時間） 第 2 回　母性栄養Ⅰ＜講義と献立作成＞ 【学修内容】　母性栄養の特徴と必要な食事基準を学び、献立（1食）を作成する。 【事前学修】　教科書のP24～46を読み、予習をしておく。 献立を作成のために必要な料理本などの参考資料の準備を行う。（0.5時間） 【事後学修】　母性栄養の献立を作成し完成させる。提出期限までに提出する。（1時間） 第 3 回　幼児期栄養Ⅰ＜講義と献立作成＞ 【学修内容】　幼児期の特徴と必要な食事基準を学び、献立（1食）を作成する。 【事前学修】　教科書のP75～96を読み、予習をしておく。 献立を作成のために必要な料理本などの参考資料の準備を行う。（0.5時間） 【事後学修】　幼児期栄養の献立作成し完成させる。提出期限までに提出する。（1時間） 第 4 回　学童期栄養Ⅰ＜講義と献立作成＞ 【学修内容】　学童期の特徴と必要な食事基準を学び、献立（1食）を作成する。 【事前学修】　教科書のP98～120を読み、予習をしておく。 献立を作成のために必要な料理本などの参考資料の準備を行う。（0.5時間） 【事後学修】　学童期栄養の献立を作成し完成させる。提出期限までに提出する。（1時間） 第 5 回　高齢期栄養Ⅰ＜講義と献立作成＞ 【学修内容】　高齢期の特徴と必要な食事基準を学び、献立（1食）を作成する。 【事前学修】　教科書のP169～190を読み、予習をしておく。 献立を作成のために必要な料理本などの参考資料の準備を行う。（0.5時間） 【事後学修】　高齢期栄養の献立を作成し完成させる。提出期限までに提出する。（1時間） 第 6 回　母性栄養Ⅱ（学生献立実習） 【学修内容】　選出された学生は献立を説明するなどの栄養士の役割を学び、また他の学生は指導の下、実際に調理・検食する事で妊娠期食の献立について理解を深める。 【事前学修】　各自で作成した妊娠期の献立内容を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　実施した学生実施献立の検食内容について調理実習レポートを作成し完成させる。 提出期限までに提出する。（1時間）

授　業　計　画	第　7　回　　幼児栄養Ⅱ（学生献立実習） 【学修内容】　選出された学生は献立を説明するなどの栄養士の役割を学び、また他の学生は指導の下、実際に調理・検食する事で幼児期食の献立について理解を深める。 【事前学修】　各自で作成した幼児期の献立内容を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　実施した学生実施献立の検食内容について調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限までに提出する。（１時間） 第　8　回　　学童栄養Ⅱ（学生献立実習） 【学修内容】　選出された学生は献立を説明するなどの栄養士の役割を学び、また他の学生は指導の下、実際に調理・検食する事で学童期食の献立について理解を深める。 【事前学修】　各自で作成した学童期の献立内容を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　実施した学生実施献立の検食内容について調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限までに提出する。（１時間） 第　9　回　　高齢期栄養Ⅱ（学生献立実習） 【学修内容】　選出された学生は献立を説明するなどの栄養士の役割を学び、また他の学生は指導の下、実際に調理・検食する事で高齢期食の献立について理解を深める。 【事前学修】　各自で作成した高齢期の献立内容を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　実施した学生実施献立の検食内容について調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限までに提出する。（１時間） 第 10 回　　高齢期栄養Ⅲ（調理実習） 【学修内容】　咀嚼機能低下、嚥下機能低下をしている高齢者の食事内容を学ぶ。 【事前学修】　教科書のP179～191を読み予習しておく。（0.5時間） 【事後学修】　咀嚼能力または嚥下機能低下のレベルに合わせた食事内容について飲み込みやすさなどを比較した調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限までに提出する。（0.5時間） 第 11 回　　展開食（調理実習） 【学修内容】　常食を介護食（咀嚼力にあわせた）に展開した食事を調理し、展開内容を理解する。 【事前学修】　教科書のP179～191を読み、予習しておく。（0.5時間） 【事後学修】　介護食を実習し、分量や柔らかさ、調理の工夫について調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限までに提出する。（１時間） 第 12 回　　乳児期栄養Ⅰ＜講義・DVD＞ 【学修内容】　乳児期栄養の特徴と必要な食事基準を学び、さらに乳児期栄養のDVDで確認する。 【事前学修】　教科書のP50～60を読み、予習をしておく。（0.5時間） 【事後学修】　講義やDVDについて感想レポートの作成し完成させる。提出期限までに提出する。（１時間） 第 13 回　　乳児期・離乳期栄養Ⅱ（実習） 【学修内容】　調乳と授乳方法の体験および離乳期栄養を調理し、離乳期の進め方を学ぶ。市販食品も検食する。 【事前学修】　教科書のP50～70を読み、予習をしておく。（0.5時間） 【事後学修】　調乳と授乳体験の感想及び離乳期の進め方について調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限までに提出する。（１時間） 第 14 回　　離乳期栄養Ⅰ＜講義・DVD＞ 【学修内容】　離乳期栄養の特徴と必要な食事基準を学び、さらに離乳期栄養のDVDで確認する。 【事前学修】　教科書のP61～70を読み、予習をしておく。（0.5時間） 【事後学修】　講義やDVDについて感想レポートの作成し完成させる。提出期限までに提出する。（１時間） 第 15 回　　まとめ 【学修内容】　ライフステージに合わせた栄養についてまとめた内容を理解する。 【事前学修】　事前に配付している資料を予習しておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料を熟読し、筆記試験に備える。（1.5時間）
評　価　方　法	提出物（60%）、筆記試験（40%）その他、受講態度等を加味し、総合評価とする。
教　　科　　書	新編　応用栄養学実習（長浜幸子編集、学建書院） 食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） 調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室監修、女子栄養大学出版部）
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
小児・福祉調理実習	実習	1	選択	必修	必修	2年・前期	佐藤　恵
科目コード　SgAAC20404							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	食欲は人間の本能的な欲求行為であり、人間が生きて行くために必要なものである。小児期は形態的な発育とともに、機能的な発達が見られ、人間形成の基礎確立の時期である。また、基本的生活習慣の自立を目指す時でもあり、この時期における栄養の適否、更に、その成長を支援する知識や技術も重要となる。また、高齢者やハンディキャップを持つ方にとっても、食生活はその生命や快適な生活を維持する上で、最も基本的なものである。 人にとって食は、単に空腹を満たし生命を維持するためだけのものではなく、人間としての基本的食習慣形成の場であると同時に、楽しみや満足感を与えるものであり、介護を必要とする高齢者にとっても同様である。授業では、それぞれの特徴に応じた食についての知識、技術を実習を通して学ぶ。
到達目標	①　小児の各発達期に応じた食生活と食事摂取のあり方を理解する。 ②　食物アレルギーについて学び、実際に工夫して調理できる。 ③　高齢者やハンディキャップを持つ方に対する食事のあり方や食事介助を理解する。 ④　嚥下・咀嚼障がいのある方に対する食事のあり方を理解し、食材の選択、調理方法の工夫ができる。
授業の進め方	授業毎にテーマに沿った実習内容のデモンストレーション、実習を行い評価・考察する。
	第　1　回　オリエンテーション 【学修内容】　授業の目的・概要、到達目標、学修内容について理解する。食育について学ぶ。 【事前学修】　授業前にシラバスを読んでおく。（0.5時間） 【事後学修】　食育の実践例を調べる。（0.5時間） 第　2　回　小児期の栄養について 【学修内容】　小児の発達に応じた食生活と食事摂取のあり方について学ぶ。 【事前学修】　小児期の特徴について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　給食だよりを作成する。（1時間） 第　3　回　小児調理実習Ⅰ 【学修内容】　幼児食（おやつ） 【事前学修】　子どもが喜ぶおやつについて調べる。（0.5時間） 【事後学修】　おやつのレシピノートを作成する。（1時間） 第　4　回　小児調理実習Ⅱ 【学修内容】　幼児食（お弁当） 【事前学修】　お弁当調理の留意点について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　お弁当のレシピノートを作成する。（1時間） 第　5　回　小児調理実習Ⅲ 【学修内容】　幼児食（お子様ランチ） 【事前学修】　子どもが喜ぶ食事の工夫について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　お子様ランチのレシピノートを作成する。（1時間） 第　6　回　小児調理実習Ⅳ 【学修内容】　アレルギー対応食 【事前学修】　食物アレルギーについて調べる。（0.5時間） 【事後学修】　アレルギー対応食のレシピノートを作成する。（1時間） 第　7　回　高齢期の栄養について 【学修内容】　高齢者に対する食事のあり方や食事介助について学ぶ。 【事前学修】　高齢期の特徴について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　高齢期の栄養についてまとめる。（0.5時間）

授業計画	第 8 回　福祉調理実習Ⅰ 【学修内容】　高齢期食Ⅰ 【事前学修】　高齢者に喜ばれる食事について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　高齢期食Ⅰのレシピノートを作成する。（1時間） 第 9 回　福祉調理実習Ⅱ 【学修内容】　高齢期食Ⅱ 【事前学修】　高齢者にとって食べやすい食事について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　高齢期食Ⅱのレシピノートを作成する。（1時間） 第10 回　福祉調理実習Ⅲ 【学修内容】　介護食への展開（和風） 【事前学修】　嚥下機能について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　和風介護食のレシピノートを作成する。（1時間） 第 11 回　福祉調理実習Ⅳ 【学修内容】　介護食への展開（洋風） 【事前学修】　介護食について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　洋風介護食のレシピノートを作成する。（1時間） 第12 回　福祉調理実習Ⅴ 【学修内容】　介護食への展開（中華風） 【事前学修】　とろみ調整剤について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　中華風介護食のレシピノートを作成する。（1時間） 第13 回　行事食実習Ⅰ 【学修内容】　お祝い料理Ⅰ 【事前学修】　お祝い料理について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　お祝い料理Ⅰのレシピノートを作成する。（1時間） 第14 回　行事食実習Ⅱ 【学修内容】　お祝い料理Ⅱ 【事前学修】　行事食について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　お祝い料理Ⅱのレシピノートを作成する。（1時間） 第15 回　まとめ 【学修内容】　小児期・高齢期の「食」のあり方について。 【事前学修】　今までの授業資料に目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　今までの授業で学んだ内容についてまとめる。（1時間）
評価方法	筆記試験（50%）、提出物（30%）、平常点（20%）平素の受講態度等を加味する。
教科書	使用しない。 ＊配付資料を用いる。
参考書 参考資料等	食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） 調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室監修、女子栄養大学出版部） ＊授業中に適宜資料を配付する
備考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
臨床栄養学	講義	2	選択	必修	必修	2年・前期	川　村　智香子
科目コード　SgAAA20405							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	栄養食事療法は全ての治療の基盤となり、その効果に影響を与える。栄養食事療法を担う栄養士として的確に対応できる力を身につけるため、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。
授業の目的・概要	・日常の栄養摂取（過剰、偏食、欠乏、代謝異常）や生活状況によって、疾病を呼び起こしたり改善することを理解すること。健康な状態と比較しながら、分析ができること。 ・疾病別知識をしっかり学ぶことにより、食事療法の意識や方法・効果について修得し、栄養士として治療の一環の担い手になること。 ・栄養士としての指導、栄養士としての治療食の基本方針を組み立て、摂取、構成、食生活改善、成果効果評価等の分析ができるように学修すること。 面接指導における心理的要因等も理解すること。 ・常に栄養学の最新成果を取り入れ、積極的な学修をすること。
到達目標	①　病態における摂取した栄養素の働き、身体でどのような変化がみられるか、アセスメントすることができる。 ②　臨床的症例を通して、栄養面において分析・説明ができる。 ③　主な疾病の食事療法について臨床的に症例を通して改善する方法を理解できる。
授業の進め方	テキストを基本とし、パワーポイントによる補足、症例提示・検討を行う。また、補足資料を配付し授業を進めていく。

第　1　回	臨床栄養学の意義と目的
【学修内容】	医療と臨床栄養について理解する。
【事前学修】	教科書（総論）１章栄養ケアの基礎について目を通しておく。（２時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を復習。（２時間）
第　2　回	栄養ケアプロセス（スクリーニング、アセスメント）
【学修内容】	栄養アセスメントの内容について理解する。
【事前学修】	教科書（総論）２章栄養アセスメントの方法を中心に目を通しておく。（２時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を復習。（２時間）
第　3　回	栄養療法（経口栄養、経腸栄養、静脈栄養）について
【学修内容】	栄養ケアプランの実施について理解する。
【事前学修】	教科書（総論）３章栄養ケアプランの作成を中心に目を通しておく。（２時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を復習。（２時間）
第　4　回	肥満・るい痩、高尿酸血症の栄養管理
【学修内容】	代謝・内分泌疾患について理解する。
【事前学修】	教科書（各論）１章肥満症の頁を中心に目を通しておく。（２時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を復習。（２時間）
第　5　回	脂質異常症、動脈硬化症の栄養管理
【学修内容】	代謝・内分泌疾患について理解する。
【事前学修】	教科書（各論）脂質異常症の頁を中心に目を通しておく。（２時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を復習。（２時間）
第　6　回	糖尿病の栄養管理
【学修内容】	代謝・内分泌疾患について理解する。
【事前学修】	教科書（各論）糖尿病の頁を中心に目を通しておく。（２時間）
【事後学修】	症例を中心に復習。（２時間）
第　7　回	胃・腸疾患の栄養管理
【学修内容】	消化器疾患の栄養管理について理解する。
【事前学修】	教科書（各論）２章潰瘍性大腸炎の頁を中心に目を通しておく。（２時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を復習。（２時間）

授　業　計　画	第　8　回　　肝疾患、膵疾患の栄養管理 【学修内容】　消化器疾患の栄養管理について理解する。 【事前学修】　教科書（各論）２章肝硬変を中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第　9　回　　高血圧・循環器疾患の栄養管理 【学修内容】　循環器疾患の栄養管理について理解する。 【事前学修】　教科書（各論）高血圧を中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　症例を含め授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第10　回　　腎疾患の栄養管理 【学修内容】　腎疾患の栄養管理について理解する。 【事前学修】　教科書（各論）４章慢性腎臓病を中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第 11 回　　血液疾患の栄養管理 【学修内容】　血液疾患の栄養管理について理解する。 【事前学修】　教科書（各論）６章鉄欠乏性貧血を中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第12　回　　免疫疾患・アレルギーの栄養管理 【学修内容】　免疫疾患の栄養管理について理解する。 【事前学修】　教科書（各論）８章食物アレルギーを中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第13　回　　摂食障害関連疾患の栄養管理 【学修内容】　心因性や認知症などによる摂食障害について理解する。 【事前学修】　教科書（各論）９章心因性の摂食障害を中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第14　回　　傷病者への栄養教育 【学修内容】　症候への栄養ケアについて理解する。 【事前学修】　教科書（総論）４章褥瘡を中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第15　回　　終末期の栄養ケア 【学修内容】　終末期の栄養ケアについて理解する。 【事前学修】　教科書（総論）終末期の栄養ケアについて目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　症例を中心に授業で学んだ内容を復習。（２時間）
評　価　方　法	筆記試験（80%）、課題（10%）、平素の受講態度等（10%）を加味する。
教　　科　　書	臨床栄養学Ⅰ総論（中山書店） 臨床栄養学Ⅱ各論（中山書店）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	2020年度版日本人の食事摂取基準 糖尿病食事療法のための食品交換表（日本糖尿病学会編、文光堂） 糖尿病性腎症の食品交換表（日本糖尿病学会編、文光堂） 腎臓病食品交換表（医歯薬出版）
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
臨床栄養学実習	実習	1	選択	必修	必修	2年・前期	嶋　田　祐　子
科目コード　SgAAC20406							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	臨床栄養学の知識を基に、疾病の予防や治療の一環である食事療法について、目的や適応症、食事療法の考え方を理解し、病態及び身体状況に合わせた献立作成と調理実習を行い、臨床栄養に必要な献立や調理の基礎を学ぶ。調理実習後、実習の感想及び考察のレポートを作成することで、献立作成や調理方法等について病態を踏まえた栄養士としての技術を身につける。 学生献立実習では、献立作成者の学生が栄養士役となり、自身の作成した献立について調理指導を行い、調理実習、献立の評価をする。また献立作成者以外の学生は調理・検食を行うことで、この献立の評価を行い、栄養士として必要な献立内容の変更、調理方法等の考察を行う。この実習により、自身の献立との相違を知り、献立作成や調理方法について理解を深める。
到達目標	①　食事療法の基本が理解できる。 ②　病態及び身体状況に合わせた献立を作成し、指導できる。 ③　病態に合わせた調理方法を学び、実施し、指導できる。 ④　効率よく衛生的に調理ができる。
授業の進め方	講義：教科書及び配付プリントを基にした講義の後、献立作成等を行う。 実習：教員による病態に合わせた調理の説明及びデモンストレーションの後、グループに分かれて調理実習を行う。 調理実習後、検食を行い感想及び感想に伴う考察の調理レポートを作成する。 学生献立実習では、献立作成学生主導の下、実習を行い、調理後、調理レポートを作成する。
	第　1　回　オリエンテーション、病院食（講義） 【学修内容】　授業概要とガイダンス、献立作成方法や臨床栄養管理、病院給食の特徴、一般食について理解する。 【事前学修】　教科書（実践臨床栄養学実習）P1～25を読み、予習をしておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料と教科書内容を復習し、理解できなかった内容は次回質問する。（１時間） 第　2　回　病院食、特別食（講義） 【学修内容】　特別食の栄養成分管理、EC食、PC食、FC食の疾患の特徴及び栄養基準、食事療法について理解する。 【事前学修】　教科書P26～85を読み、予習をしておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料と教科書内容を復習し、理解できなかった内容は次回質問する。（１時間） 第　3　回　一般食（実習） 【学修内容】　常食・軟菜食の調理実習を行い、柔らかさ・分量の違いを理解する。 【事前学修】　教科書P20～25を読み、予習をしておく。調理実習に必要な持ち物を確認する。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料と教科書内容を復習し、調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限内に提出する。（１時間） 第　4　回　塩分・エネルギーコントロール食（実習） 【学修内容】　減塩食品、エネルギー調整食品を使用した調理実習を行い、塩分・エネルギーコントロール食の食事療法を理解する。 【事前学修】　教科書P49～54を読み、予習をしておく。調理実習に必要な持ち物を確認する。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料と教科書内容を復習し、調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限内に提出する。（１時間） 第　5　回　脂質コントロール食（実習） 【学修内容】　低脂質食品を使用した調理実習を行い、脂質コントロール食の食事療法を理解する。 【事前学修】　教科書P73～85を読み、予習をしておく。調理実習に必要な持ち物を確認する。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料と教科書内容を復習し、調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限内に提出する。（１時間） 第　6　回　たんぱく質コントロール食（実習） 【学修内容】　たんぱく質調整食品・減塩食品を使用した調理実習を行い、たんぱく質コントロール食の食事療法を理解する。 【事前学修】　教科書P56～67を読み、予習をしておく。調理実習に必要な持ち物を確認する。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料と教科書内容を復習し、調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限内に提出する。（１時間）

授業計画	第 7 回　エネルギーコントロール食（実習） 【学修内容】　エネルギー調整食品を使用した調理実習を行い、エネルギーコントロール食の食事療法を理解する。 【事前学修】　教科書P30～48を読み、予習をしておく。調理実習に必要な持ち物を確認する。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料と教科書内容を復習し、調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限内に提出する。（１時間） 第 8 回　エネルギーコントロール食、糖尿病食品交換表を使用しての糖尿病食（講義） 【学修内容】　エネルギーコントロール食の献立作成に必要な食事基準などや糖尿病食品交換表の使い方を学ぶ。 【事前学修】　糖尿病食品交換表に目を通し、予習をしておく。（0.5時間） 【事後学修】　糖尿病食品交換表の内容を復習し、糖尿病食献立を作成するため必要な料理本などの参考資料の準備を行う。（1時間） 第 9 回　展開（常食からエネルギーコントロール食に）、糖尿病食品交換表を使用しての糖尿病食献立作成（講義） 【学修内容】　常食から糖尿病食への展開方法を学び、糖尿病食品交換表を使用した糖尿病食献立を実際に作成する。 【事前学修】　糖尿病食品交換表の内容を復習し、糖尿病食献立を作成するため必要な料理本などの参考資料の準備を行う。（0.5時間） 【事後学修】　糖尿病食の献立を作成し完成させる。提出期日までに提出する。（1時間） 第 10 回　たんぱく質コントロール食、腎臓病食食品交換表を使用しての腎臓病食（講義） 【学修内容】　たんぱく質コントロール食の献立作成に必要な食事基準などや腎臓病食品交換表の使い方を学ぶ。 【事前学修】　腎臓病食品交換表に目を通し、予習をしておく。（0.5時間） 【事後学修】　腎臓病食品交換表の内容を復習し、腎臓病食献立を作成するため必要な料理本などの参考資料の準備を行う。（１時間） 第 11 回　展開（常食からたんぱく質コントロール食に）、腎臓病食品交換表を使用しての腎臓病食の献立作成（講義） 【学修内容】　常食から腎臓病食への展開方法を学ぶ。また腎臓病食品交換表の使用した腎臓病食献立を実際に作成する。 【事前学修】　腎臓病食品交換表の内容を復習し、腎臓病食献立を作成するため必要な料理本などの参考資料の準備を行う。（0.5時間） 【事後学修】　腎臓病食の献立を作成し完成させる。提出期日までに提出する。（1時間） 第 12 回　脂質コントロール食の献立作成（講義） 【学修内容】　脂質コントロール食の食事基準に沿って、実際に献立を作成する。 【事前学修】　教科書P73～85を読み、予習をしておく。献立を作成するために必要な料理本などの参考資料の準備を行う。（0.5時間） 【事後学修】　脂質コントロール食の献立を作成し完成させる。提出期日までに提出する。（1時間） 第 13 回　学生が作成した糖尿病食（１日）の実習 【学修内容】　選出された学生は献立を説明するなどの栄養士の役割を学び、他の学生は指導の下、実際に調理・検食する事で糖尿病食の献立について理解を深める。 【事前学修】　各自の作成した糖尿病食献立内容を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　実施した学生献立の検食内容について調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限までに提出する。（1時間） 第 14 回　学生が作成した腎臓病食（１日）の実習 【学修内容】　選出された学生は献立を説明するなどの栄養士の役割を学び、他の学生は指導の下、実際に調理・検食する事で腎臓病食の献立について理解を深める。 【事前学修】　各自の作成した腎臓病食献立内容を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　実施した学生献立の検食内容について調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限までに提出する。（１時間） 第 15 回　展開（粥食から脂質コントロール食に）、臨床栄養学のまとめ 【学修内容】　粥食から脂質コントロール食への展開方法を学ぶ。病態に合わせた栄養についてまとめた内容を理解する。 【事前学修】　事前に配付している資料（臨床栄養学のまとめ）を予習しておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料（臨床栄養学のまとめ）を熟読し、筆記試験に備える。（1時間）
評価方法	提出物（50%）、筆記試験（50%）　その他、受講態度等を加味し、総合評価とする。
教科書	実践臨床栄養学実習- 栄養食事療法と献立の展開（長浜幸子ほか、第一出版） 糖尿病食事療法のための食品交換表（日本糖尿病学会、文光堂） 腎臓病食品交換表（黒川清監修、医歯薬出版）
参考書 参考資料等	食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） 給食施設のための献立作成マニュアル（冨田教代ほか共著、医歯薬出版） 調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室監修、女子栄養大学出版部）
備考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
健康管理概論	講義	2	選択	必修	必修	2年・後期	髙塚 珠美
科目コード　SgAAA20407							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	近年の急速な少子高齢化に伴い、国民の健康問題は複雑かつ多様化している。それにより保健・栄養系分野の専門家への社会的ニーズは当然高まっている。この講義では健康管理の基本的な理論や考え方を学び、科学的な根拠に基づく実践及び評価ができる専門職となれるよう体系的に学ぶ。
到達目標	① 健康の概念、健康増進や疾病予防の考え方やその取り組みについて理解する。 ② 社会や環境と健康との関係を理解するとともに、社会や環境の変化が健康に与える影響を理解する。 ③ 保健・医療・福祉・介護システムの概要について理解する。
授業の進め方	PowerPointによる資料を使用して講義を進める。必要時レポートの提出やミニテストなどを実施する。

第 1 回　オリエンテーション、健康の概念
【学修内容】　オリエンテーション、健康の定義・考え方、健康の成立条件
【事前学修】　教科書の該当範囲に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間）

第 2 回　保健統計　Ⅰ
【学修内容】　健康指標、平均寿命・平均余命
【事前学修】　教科書の該当範囲に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間）

第 3 回　保健統計　Ⅱ
【学修内容】　出生・婚姻・離婚の状況、死亡率の動向
【事前学修】　教科書の該当範囲に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間）

第 4 回　保健統計　Ⅲ
【学修内容】　外因死、妊産婦・乳児死亡率
【事前学修】　教科書の該当範囲に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間）

第 5 回　生活習慣と健康　Ⅰ
【学修内容】　喫煙、アルコール、食事の健康への影響
【事前学修】　教科書の該当範囲に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間）

第 6 回　生活習慣と健康　Ⅱ
【学修内容】　睡眠、ストレス等の健康への影響
【事前学修】　教科書の該当範囲に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間）

第 7 回　主要疾患の疫学と対策 Ⅰ
【学修内容】　悪性新生物
【事前学修】　教科書の該当範囲に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間）

授　業　計　画	第　8　回　　主要疾患の疫学と対策 Ⅱ 【学修内容】　循環器疾患 【事前学修】　教科書の該当範囲に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間） 第　9　回　　主要疾患の疫学と対策 Ⅲ 【学修内容】　脳血管疾患、糖尿病、骨粗鬆症、歯科疾患 【事前学修】　教科書の該当範囲に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間） 第 10 回　　健康状態と受療状況 【学修内容】　国民健康状態、健康意識と健康不安、受療率の動向 【事前学修】　教科書の該当範囲に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間） 第 11 回　　健康増進対策　Ⅰ 【学修内容】　健康増進の三原則（食事摂取基準、運動、栄養） 【事前学修】　教科書の該当範囲に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間） 第 12 回　　健康増進対策　Ⅱ 【学修内容】　国民健康づくり対策（食育基本法、健康づくり行政、課題）健康づくり対策の法的対応 【事前学修】　教科書の該当範囲に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間） 第 13 回　　健康管理の進め方　Ⅰ 【学修内容】　健康管理の方法と健康教育 【事前学修】　教科書の該当範囲に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間） 第 14 回　　健康管理の進め方　Ⅱ 【学修内容】　ライフステージからみた健康管理 【事前学修】　教科書の該当範囲に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間） 第 15 回　　研究法　これまでのまとめ 【学修内容】　栄養士が得た情報をどのように活かすか　これまでのまとめ 【事前学修】　教科書の該当範囲に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　これまでの復習ノートプリントを見直す。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（70%）提出課題等、平常点（30%）平素の受講態度等を加味する。
教　　科　　書	社会・環境と健康 健康管理概論　第4版　（講談社）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	国民衛生の動向　公衆衛生学　厚生労働省HP資料など最新の統計資料を参考に学習する。
備　　考	教科書持参のこと。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
栄養指導実習	実習	1	選択	必修	必修	2年・前期	井　塚　ふみ子
科目コード　ＳｇＡＡＣ20503							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	栄養士の業務内容は、栄養士の名称を用いて「栄養の指導を業とする者」となっている。一年次の栄養指導論で学んだ知識について実習を行う。栄養計算ソフト演習等や選択したテーマに沿って実践的に栄養指導技術を修得することを目的とする。実際の栄養指導場面で活用できるような指導とするため、各自が作成した栄養指導案に沿い15分間の指導を効率よく体験してもらう。また、各自が指導を行う上で使用する媒体の作成も重要な意味合いを持つ。
到達目標	①　栄養指導を行うための基礎的技術を修得できる。 ②　栄養指導媒体の作成方法がわかる。
授業の進め方	講義及び演習により授業を進める。

第　1　回　　オリエンテーション
【学修内容】　栄養指導実習の解説をする。1分間スピーチの組み立てと話し方などを理解し、発表する。
【事前学修】　シラバスを読み、授業内容を把握しておく。（0.5時間）
【事後学修】　本日の授業内容の再確認をする。　（1時間）

第　2　回　　パソコンソフトを使用した栄養計算Ⅰ：基本操作①
【学修内容】　パソコンソフトの基本的な操作を理解する。【食品入力の演習、献立入力の演習ほか】
【事前学修】　情報処理の授業内容を復習する。（0.5時間）
【事後学修】　パソコンソフトの基本的な操作を再確認する。（1時間）

第　3　回　　パソコンソフトを使用した栄養計算Ⅱ：基本操作②
【学修内容】　パソコンソフトの基本的な操作を理解する。【材料、分量の変更方法、栄養価計算の演習　食事調査ほか】
【事前学修】　パソコンソフトの基本的な操作①を再確認する。（0.5時間）
【事後学修】　パソコンソフトの基本的な操作②を再確認する。　食事調査表を完成させる。（1時間）

第　4　回　　パソコンソフトを使用した栄養計算Ⅲ：食事調査の栄養計算
【学修内容】　食事調査の栄養計算と栄養評価の出し方を理解する。（食事摂取基準、栄養素比率、食事バランスガイドなど）
【事前学修】　栄養評価について、再確認する。（0.5時間）
【事後学修】　改善献立内容について調べてくる。（1時間）

第　5　回　　パソコンソフトを使用した栄養計算Ⅳ：栄養指導のための献立作成①
【学修内容】　改善献立と栄養評価結果票の作成をする。　自己評価と今後の目標を立てる。
【事前学修】　栄養評価について、再確認する。（0.5時間）
【事後学修】　改善献立の作成と評価を再確認する。（1時間）

第　6　回　　パソコンソフトを使用した栄養計算Ⅴ：栄養指導のための献立作成②
【学修内容】　改善献立と栄養評価結果票の作成をする。　自己評価と今後の目標を立てる。　課題を提出する。
【事前学修】　献立表、評価票を作成する（0.5時間）
【事後学修】　前半の授業で理解した内容を復習しておく。（1時間）

第　7　回　　栄養指導の指導計画案作成・媒体準備
【学修内容】　発表する栄養指導実習の解説をする。【指導計画案の作り方　効果的なプレゼンテーションほか】
【事前学修】　栄養指導テーマと媒体の種類を決めておく。（0.5時間）
【事後学修】　指導計画案の作成をする。　媒体の教材集めと構成を決める。（1時間）

授　業　計　画	第　8　回　　栄養指導の指導計画案作成・媒体準備 【学修内容】　指導計画案の作成と提出をする。　媒体作成をする。 【事前学修】　指導計画案の提出準備をする。媒体作成をする。（0.5時間） 【事後学修】　媒体作成をする。（1時間） 第　9　回　　栄養指導の媒体作成・発表準備 【学修内容】　発表する栄養指導の媒体作成をする。スライドや原稿など発表の準備をする。 【事前学修】　指導媒体の作成と発表の準備をする。（0.5時間） 【事後学修】　媒体作成・発表準備をする。（1時間） 第10　回　　指導媒体を使用して栄養指導実施Ⅰ＜個人別＞ 【学修内容】　指導計画案の説明と発表をする。【10分以上15分以内】質疑応答　他の生徒は評価票を提出する。 【事前学修】　指導媒体の作成と発表の準備をする。（0.5時間） 【事後学修】　発表準備をする。発表後の自己評価をまとめる。（1時間） 第11　回　　指導媒体を使用して栄養指導実施Ⅱ＜個人別＞ 【学修内容】　指導計画案の説明と発表をする。【10分以上15分以内】　質疑応答　他の生徒は評価票を提出する。 【事前学修】　指導媒体の作成と発表の準備をする。（0.5時間） 【事後学修】　発表準備をする。発表後の自己評価をまとめる。（1時間） 第 12 回　　指導媒体を使用して栄養指導実施Ⅲ＜個人別＞ 【学修内容】　指導計画案の説明と発表をする。【10分以上15分以内】　質疑応答　他の生徒は評価票の提出する。 【事前学修】　指導媒体の作成と発表の準備をする。（0.5時間） 【事後学修】　発表準備をする。発表後の自己評価をまとめる。（1時間） 第13　回　　指導媒体を使用して栄養指導実施Ⅳ＜個人別＞ 【学修内容】　指導計画案の説明と発表をする。【10分以上15分以内】　質疑応答　他の生徒は評価票の提出する。 【事前学修】　指導媒体の作成と発表の準備をする。（0.5時間） 【事後学修】　発表準備をする。発表後の自己評価をまとめる。（1時間） 第14　回　　指導媒体を使用して栄養指導実施Ⅴ＜個人別＞ 【学修内容】　指導計画案の説明と発表をする。【10分以上15分以内】　質疑応答　他の生徒は評価票の提出する。 【事前学修】　指導媒体の作成と発表の準備をする。（0.5時間） 【事後学修】　発表後の自己評価をまとめる。（1時間） 第15　回　　病院の栄養指導の実際について（心得など） 【学修内容】　病院栄養指導の心得や指導の流れを理解する。　糖尿病患者の食事記録からの栄養指導演習をする。 【事前学修】　糖尿病の栄養指導について復習してくる。（0.5時間） 【事後学修】　指導ポイントの課題作成をする。今日の授業の復習をする。（1時間）
評　価　方　法	栄養指導内容（30%）、指導媒体（30%）、提出物（30%）、平常点（10%）平素の授業態度等を加味する。
教　　科　　書	使用しない。
参　　考　　書 参 考 資 料 等	Excelアドイン「栄養プラス」（建帛社） 糖尿病食事療法のための食品交換表（日本糖尿病学会編・著　文光堂） 必要な時は適宜資料を配付する。
備　　考	提出物の期限厳守。クラスメートの発表を真剣に聞くこと。やむを得ない事情が無い限り、欠席しないこと。 実務経験のある教員：北海道内の病院における栄養指導に関する実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
公衆栄養学	講義	2	選択	必修	必修	2年・後期	井　塚　ふみ子
科目コード　SgAAA20504							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	公衆栄養学は、地域住民の健康の維持・増進やQOLの向上を目的としている。 そのために、集団の健康・栄養に関する問題を把握し、集団及び個人ごとの適切な公衆栄養プログラムをマネジメントする概念と理論を理解し、あわせてわが国及び諸外国の健康・栄養・食料問題の現状と課題を学び、公衆栄養活動を展開、実践するための知識と能力を持つことを目標とする。
到達目標	①　公衆栄養活動の実際を全般的に展開・実践できる知識と能力を修得する。 ②　わが国及び諸外国の健康・食料・栄養問題の現状と課題を学ぶ。
授業の進め方	教科書に基づく講義を中心に、必要に応じ、参考資料等を配付する。
	第　1　回　公衆栄養の概念（公衆栄養の概念、公衆栄養活動 ） 【学修内容】　公衆栄養学の概念、枠組みや歴史を理解する。公衆栄養活動を通じて人々の健康の維持・増進を理解する。 【事前学修】　教科書chapter1に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間） 第　2　回　わが国の健康・栄養問題の現状と課題1 【学修内容】　国民の健康状態の現状と課題を理解する。 【事前学修】　教科書chapter2の健康・栄養問題に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間） 第　3　回　わが国の健康・栄養問題の現状と課題2 【学修内容】　食生活の変化や食料需給表について理解する。 【事前学修】　教科書chapter2の食生活の変遷やわが国の食料需給の現状と対策に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間） 第　4　回　わが国の栄養・食料政策1（公衆栄養関連法規） 【学修内容】　公衆栄養関連法規を理解する。 【事前学修】　教科書chapter5の関連法規に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間） 第　5　回　わが国の栄養・食料政策2（栄養士制度と国の健康栄養政策） 【学修内容】　栄養士制度と国の健康栄養政策を理解する。 【事前学修】　教科書chapter5・7栄養士制度、健康日本21と食育基本法、食事摂取基準に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間） 第　6　回　わが国の栄養・食料政策3（食生活の変遷とガイドライン） 【学修内容】　国民健康・栄養調査や食事バランスガイドについて理解する。 【事前学修】　教科書chapter2・5の国民健康・栄養調査や食事バランスガイドに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間） 第　7　回　栄養疫学1（疫学の概要） 【学修内容】　疫学の調査の種類とその手法について理解する。 【事前学修】　教科書chapter4の栄養疫学と調査の内容に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（2時間）

授　業　計　画	第　8　回　　栄養疫学２（食事調査の方法と種類、結果評価） 【学修内容】　食事調査の方法と種類、結果評価について理解しておく。 【事前学修】　教科書chapter４の栄養疫学と調査の内容について目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第　9　回　　公衆栄養マネジメント１ 【学修内容】　公衆栄養マネジメントと公衆栄養アセスメントについて理解する。 【事前学修】　教科書chapter3の公衆栄養マネジメントと公衆栄養アセスメントに目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第　10　回　　公衆栄養マネジメント２ 【学修内容】　公衆栄養プログラムの目標設定について理解する。 【事前学修】　教科書chapter3の公衆栄養プログラムの目標設定に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第　11　回　　公衆栄養マネジメント３ 【学修内容】　公衆栄養プログラムの評価について理解する。 【事前学修】　教科書chapter3公衆栄養プログラムの評価に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第　12　回　　公衆栄養マネジメント4 【学修内容】　公衆栄養プログラムの展開について理解する。 【事前学修】　教科書chapter3公衆栄養プログラム展開に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第　13　回　　公衆栄養マネジメント5 【学修内容】　特別用途表示食品と機能性表示食品について理解する。 【事前学修】　教科書chapter3の特別用途表示と機能性表示に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第　14　回　　諸外国の健康・栄養政策 【学修内容】　諸外国の健康・栄養問題と栄養政策について理解する。 【事前学修】　教科書chapter6に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第　15　回　　まとめ 【学修内容】　公衆栄養学全般について復習を行う。 【事前学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
評　価　方　法	筆記試験（90%）、そのほか平素の授業態度等を加味する（10%）
教　　科　　書	エスカベーシック公衆栄養学2025/2026（古畑　公・田中弘之編者、同文書院）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	日本人の食事摂取基準（2025年版） 管理栄養士栄養士必携（第一出版） 必要に応じ、資料等を配付する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
給食実習Ⅱ	実習	1	選択	必修	必修	2年・前期	佐藤　恵
科目コード　ＳｇＡＡＣ20607							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	本科目は、学外実習に進むための基礎実習として大変重要であり、給食実習Ⅰ及び実習内規細則に定める科目を履修し単位を修得しなければ、本科目を受講できない。
授業の目的・概要	学内の集団給食施設の現場において、今まで学んできた知識を活かし、給食業務に必要な食事計画・調理を含めた給食サービスに関する技術を修得することで、実践力を培い、栄養士としての主体的な自覚を持つ。
到達目標	学内の集団給食施設での実習を通して、栄養士として必要な給食管理業務の実践力を養い、学外実習へ繋げることを目標とする。
授業の進め方	学内の集団給食施設において給食管理実習を行う。
授業計画	日程表により、グループ別に、短大給食施設での実習を行う。 第　1　～3回　学内実習（1日目） 【学修内容】　短大給食施設での実習を行う（栄養士の業務内容等） 【事前学修】　実習ノートを確認し、作業手順等を確認する。（1時間） 【事後学修】　実習ノートを整理し、実習で学んだ知識・技術等を復習しておく。（1時間） 第　4　～6回　学内実習（2日目） 【学修内容】　短大給食施設での実習を行う（栄養管理、給食管理等） 【事前学修】　実習ノートを確認し、作業手順等を確認する。（1時間） 【事後学修】　実習ノートを整理し、実習で学んだ知識・技術等を復習しておく。（1時間） 第　7　～9回　学内実習（3日目） 【学修内容】　短大給食施設での実習を行う（衛生管理、作業管理等） 【事前学修】　実習ノートを確認し、作業手順等を確認する。（1時間） 【事後学修】　実習ノートを整理し、実習で学んだ知識・技術等を復習しておく。（1時間） 第 10 ～12回　学内実習（4日目） 【学修内容】　短大給食施設での実習を行う（他部署との連携等） 【事前学修】　実習ノートを確認し、作業手順等を確認する。（1時間） 【事後学修】　実習ノートを整理し、実習で学んだ知識・技術等を復習しておく。（1時間） 第 13 ～15回　学内実習（5日目） 【学修内容】　短大給食施設での実習を行う（5日間のまとめ） 【事前学修】　実習ノートを確認し、作業手順等を確認する。（1時間） 【事後学修】　実習ノートを整理し、実習のまとめをする。（1時間）
評価方法	実習（100%）実習態度、そのほかの提出物等を加味する。

教　　科　　書	食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） 給食運営・経営管理実習のてびき（西川貴子ほか共著、医歯薬出版） 給食施設のための献立作成マニュアル（冨田教代ほか共著、医歯薬出版） Nブックス改訂給食の運営ー栄養管理・経営管理ー（逸見幾代ほか著、建帛社） 調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室 監修、女子栄養大学出版部）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	教材：学内実習ノート
備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
給食実習Ⅲ	実習	2	選択	必修	必修	2年・通年	田中　ゆかり・佐藤　恵 木野村　美花
科目コード　SgAAC30608							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	１年次開講される給食経営論、給食実務論、給食実習Ⅰ及び実習内規細則に定める科目を履修し単位を修得しなければ、本科目を受講できない。また、事前及び事後指導については、やむを得ない事由を除き全て受講すること。
授業の目的・概要	本科目は事前指導・学外実習・事後指導で構成される。特定給食施設の意義とその設置目的、内容、運営形態について理解し、給食業務を行うために各給食施設の食事形態や対象者の身体的特徴、食生活について理解を深め、必要な食事計画や調理を含めた給食提供等について、学外実習という実践の場を通して、栄養士として必要な知識と技術を修得する。
到達目標	小学校実習では、学校給食の目標や意義を理解し、年齢に応じた食事摂取基準、献立作成、調理、盛付け等給食業務全体を実体験する。また、教職員や児童との交流を通して学校教育における食教育のあり方を学修する。 福祉施設実習では、施設の種類と特性を理解した上で、利用者の心身の状況や栄養状態、病状等を考慮した栄養管理方法・実習・評価等を実体験する。また、他の職種との連携の取り方等を学修する。 自衛隊実習では、自衛隊給食の意義を踏まえ青年期栄養の特性、身体活動レベル、職種（業務の体力消耗の軽重）に対応した栄養管理、緊急災害時における給食等自衛隊給食の特色について学修する。
授業の進め方	本科目は、事前・事後指導と学外実習を合わせて実施する。学外実習で予定されている施設は、小学校及び福祉施設、自衛隊であり、各施設の「給食の運営」について学ぶ。
	＜事前指導＞ 第　1　回　　オリエンテーション 【学修内容】　授業概要の説明、実習に向けての心構え、実習先との連絡の取り方、挨拶日、マナーについて 【事前学修】　シラバスに目を通しておく。（0.2時間） 【事後学修】　実習先の概要について調べる。（0.5時間） 第　2　回　　実習ノートの記入について、グループ活動 【学修内容】　実習先別の実習ノートについて説明、グループ活動 【事前学修】　実習施設の特徴に合わせた研究テーマを考える。（0.5時間） 【事後学修】　各自で設定した研究テーマについて資料を集める。（0.5時間） 第　3　回　　グループで実習準備をする 【学修内容】　実習施設への挨拶、研究テーマ、課題についてグループで確認する。 【事前学修】　実習施設への交通手段を調べ、挨拶日の準備をする。（0.5時間） 【事後学修】　実習施設の給食の特性について調べる。（0.5時間） 第　4　回　　グループで実習準備をする 【学修内容】　実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成、栄養指導、媒体作成など） 【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業のふりかえりをする。（0.5時間） 第　5　回　　グループで実習準備をする 【学修内容】　実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成、栄養指導、媒体作成など） 【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業のふりかえりをする。（0.5時間） 第　6　回　　グループで実習準備をする 【学修内容】　実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成、栄養指導、媒体作成など） 【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業のふりかえりをする。（0.5時間）

授　業　計　画	第　7　回　　外部講師による講演① 【学修内容】　栄養士の職務の実際、学外実習への心構えについて 【事前学修】　実習施設の栄養士の職務内容について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（0.5時間） 第　8　回　　グループで実習準備をする 【学修内容】　実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成、栄養指導、媒体作成など） 【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業のふりかえりをする。（0.5時間） 第　9　回　　外部講師による講演② 【学修内容】　栄養士の職務の実際、学外実習への心構えについて 【事前学修】　実習施設の栄養士の職務内容について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（0.5時間） 第10　回　　グループで実習準備をする 【学修内容】　実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成、栄養指導、媒体作成など） 【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業のふりかえりをする。（0.5時間） 第 11 回　　グループで実習準備をする 【学修内容】　実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成、栄養指導、媒体作成など） 【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業のふりかえりをする。（0.5時間） 第12　回　　外部講師による講演③ 【学修内容】　栄養士の職務の実際、学外実習への心構えについて 【事前学修】　実習施設の栄養士の職務内容について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（0.5時間） 第13　回　　実習の心得、グループで実習準備をする 【学修内容】　実習の心得、実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成、栄養指導、媒体作成など） 【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業のふりかえりをする。（0.5時間） 第14　回　　グループで実習準備をする、実習前の最終確認 【学修内容】　実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成、栄養指導、媒体作成など） 【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業のふりかえりをする。実習前に再度実習ノート、課題など入念にチェックする。（0.5時間） ＜学外実習＞ 小学校、福祉施設、自衛隊のいずれかの給食施設での実習を行う。 ・小学校、福祉施設、自衛隊の組織、機構 ・小学校、福祉施設、自衛隊の給食部門の概要 ・小学校、福祉施設、自衛隊の栄養士の業務内容 ・小学校、福祉施設、自衛隊の栄養管理（食事療法と調理の実際） ・小学校、福祉施設、自衛隊の栄養、食事指導の実際と評価 ・小学校、福祉施設、自衛隊の食事環境と喫食率 ・小学校、福祉施設、自衛隊の衛生管理、作業管理 ・小学校、福祉施設、自衛隊における他部門との連携 ＊実習1日につき 【事前学修】　実習施設の概要および実習内容等の基礎的知識を予習する。（0.5時間） 【事後学修】　実習ノートを整理し、実習で学んだ知識・技術等を復習しておく。（0.5時間） ＜事後指導＞ 第15　回　　学外実習を終えて 【学修内容】　学外実習のふりかえり、実習報告について 【事前学修】　学外実習で学んだことをふりかえる。（0.5時間） 【事後学修】　実習をふりかえり、反省や課題を明確にする。（0.5時間） 第 16 回　　実習報告の作成 【学修内容】　実習報告を作成する 【事前学修】　実習報告に必要な資料を準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業中に作成した実習報告を点検する。（0.5時間） 第 17 回　　外部講師による講演④ 【学修内容】　栄養士の職務の実際、実習内容について講演 【事前学修】　実習施設の栄養士の職務内容について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（0.5時間） 第 18 回　　実習報告の作成 【学修内容】　実習報告を作成し、発表練習を各グループで行う。 【事前学修】　作成した実習報告を再度点検する。（0.5時間） 【事後学修】　実習報告会での発表練習を行う。（0.5時間）

	第 19 回　実習報告会① 【学修内容】　実習施設別に実習報告の発表、質疑応答、講評 【事前学修】　発表練習を行う。（0.5時間） 【事後学修】　学んだことを記録し、不明な点、興味を持ったことについて調べる。（0.5時間） 第 20 回　実習報告会② 【学修内容】　実習施設別に実習報告の発表、質疑応答、講評 【事前学修】　発表練習を行う。（0.5時間） 【事後学修】　学んだことを記録し、不明な点、興味を持ったことについて調べる。（0.5時間） 第 21 回　実習報告会③ 【学修内容】　実習施設別に実習報告の発表、質疑応答、講評 【事前学修】　発表練習を行う。（0.5時間） 【事後学修】　学んだことを記録し、不明な点、興味を持ったことについて調べる。（0.5時間） 第 22 回　外部講師による講演⑤ 【学修内容】　栄養士の職務の実際、食事療法について講演 【事前学修】　実習施設の栄養士の職務内容について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（0.5時間） 第 23 回　実習報告会④、まとめ 【学修内容】　実習施設別に実習報告の発表、質疑応答、講評 【事前学修】　発表練習を行う。（0.5時間） 【事後学修】　学んだことを記録し、不明な点、興味を持ったことについて調べる。（0.5時間）

評価方法	提出物等（50%）、実習先からの評価（50%）に平常点を加味する。
教科書	使用しない。 教材：実習ノート
参考書 参考資料等	適宜紹介する。
備考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
給食実習Ⅳ	実習	2	選択	選択	選択	2年・前期	佐藤　恵
科目コード　SgaaC30609							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	本科目は、給食実習Ⅰ、給食実習Ⅱ、給食実習Ⅲ及び実習内規細則に定める科目を履修していなければ受講できない。また、事前及び事後指導もすべて受講すること。
授業の目的・概要	本科目は事前指導、学外実習、事後指導で構成される。 事前指導においては、各実習先の概要について理解し、施設利用者に適応した食事計画・給食サービス等の事前研究を行う。 学外実習では、それぞれの施設における給食実務の概要、理論、実態を実践活動の場における体験を通して把握する。課題発見、問題解決への取組み等から、専門的知識及び技術の統合を図り、栄養士の専門領域で活躍できる幅広い応用力、実践力を身に付けることを目的とする。 事後指導では、各実習先の実習概要についてまとめ報告する。
到達目標	病院実習では、医療スタッフの一員として患者への対応を体験し、傷病者を対象とした栄養指導の必要性、医療現場の実際を把握するとともに、栄養部門の業務全般について献立立案から配膳に至る一連の作業、外来・入院患者を対象とした栄養食事指導等を体験を通して学ぶ。 福祉施設実習では、施設の種類と特性を理解した上で、利用者の栄養管理、心身の状況、病状等を考慮した栄養ケアプランの作成方法・実施・評価等の対応方法を実体験する。また、施設給食の特質を把握し、食事サービスのマネジメント、他の職種との連携の重要性等を学修する。
授業の進め方	本科目は、事前・事後指導と学外実習を合わせて実施する。学外実習で予定されている施設は、病院及び福祉施設であり、各施設の「給食の運営」について学ぶ。
	＜事前指導＞ 第 1 回　オリエンテーション 【学修内容】　授業概要の説明、実習に向けての心構え、実習先との連絡の取り方、挨拶日、マナーについて 【事前学修】　シラバスに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　実習先の概要について調べる。（0.5時間） 第 2 回　グループで実習準備をする。 【学修内容】　実習施設への挨拶、研究テーマ、課題についてグループで確認する。 【事前学修】　実習施設について調べ、挨拶日の準備、課題の準備をする。（0.5時間） 【事後学修】　実習施設の給食の特性について調べる。（0.5時間） 第 3 回　グループで実習準備をする。 【学修内容】　実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成・栄養指導・媒体作成など） 【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業のふりかえりをする。（0.5時間） 第 4 回　グループで実習準備をする。 【学修内容】　実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成・栄養指導・媒体作成など） 【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業のふりかえりをする。（0.5時間）

授　業　計　画	＜学外実習＞ 病院、福祉施設のいずれかの給食施設での実習を行う。 ・病院・福祉施設の組織、機構 ・病院・福祉施設の給食部門の概要 ・病院・福祉施設の栄養士の業務内容 ・病院・福祉施設の栄養管理（食事療法と調理の実際） ・病院・福祉施設の栄養・食事指導の実際と評価 ・病院・福祉施設の食事環境と喫食率 ・病院・福祉施設の衛生管理・作業管理 ・病院・福祉施設における他部門との連携 ＊実習１日につき 【事前学修】　実習施設の概要および実習内容等の基礎的知識を予習する。（0.5時間） 【事後学修】　実習ノートを整理し、実習で学んだ知識・技術等を復習しておく。（1時間） ＜事後指導＞ 第 5 回　学外実習を終えて 【学修内容】　学外実習のふりかえり、実習報告について 【事前学修】　学外実習で学んだことをふりかえる。（0.5時間） 【事後学修】　実習をふりかえり、反省や課題を明確にする。（0.5時間）
評　価　方　法	提出物等（20%）、実習先からの評価（80%）に平常点を加味する。
教　　科　　書	使用しない。 教材：実習ノート
参　　考　　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
教職概論	講義	2	選択		必修	2年・前期	鴫原正世 田中ゆかり
科目コード　SgZAA10801							担当形態：オムニバス

教育の基礎的理解に関する科目	科目に含める必要事項
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。 将来、栄養教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	現代社会における教職の重要性の高まりを背景に教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し進路選択に資する教職のあり方を理解する。 ① 学校教育において、教員の果たすべき役割について学ぶ。 ② 教職の意義、職務内容について学ぶ。 ③ 教員に求められる資質・能力について学ぶ。 ④ 教育に関する法律や規則について学ぶ。 ⑤ 実際の学校現場を想定し、教職の魅力を理解する。
到達目標	① 教育の目的とその担い手である教員の意義、教職の職業的特徴を理解し教職への意欲を高める。 ② 教職観の変遷を踏まえ今日の教員に求められる役割を理解し基礎的な資質能力を身に付ける。 ③ 児童及び生徒への指導及び指導以外の校務を含めた教員の職務の全体像を理解する。 ④ 教員研修の意義及び制度上の位置づけ並びに専門職として適切に職務を遂行する為に生涯にわたって学び続けることの必要性を理解する。 ⑤ 教員に課せられる服務上・身分上の義務及び身分保障を理解している。 ⑥ 校内の教職員や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解する。
授業の進め方	教員を目指す上での必要な事項、知識の整理を試みる。更に教育論や制度的枠組みにも触れながら、教育現場の問題や課題を検討する。社会的・文化的・思想的な意味での「教育」、その中における制度としての「学校」、そしてその間における「教師の役割」という点で運営を行っていき、望まれる教師像を探り、想像力を高め自他ともに成長・育成していく。

第 1 回	オリエンテーション	（担当：田中）
【学修内容】	講義計画の概要と学習方法、評価等	
【事前学修】	授業の目的・概要を読み教職への意識を高める。教育に関する話題に関心をもち情報を収集する。（2時間）	
【事後学修】	講義内容のまとめ。事前学習で収集した話題についての探求。（2時間）	
第 2 回	教育の意義・目的	（担当：鴫原）
【学修内容】	教育と教育の意義・目的、教育観の展開	
【事前学修】	教科書より教育の意義・目的について読み、「教育とは」について考えをまとめる。（2時間）	
【事後学修】	講義を基に「教育とは」についてまとめる。（2時間）	
第 3 回	教育の内容	（担当：鴫原）
【学修内容】	教育課程の意義と類型	
【事前学修】	教科書より「教育課程の意義」について考えをまとめる。（2時間）	
【事後学修】	講義内容をまとめ「教育課程の意義」について考察する。（2時間）	
第 4 回	我が国の教育制度と学校教育	（担当：鴫原）
【学修内容】	教育基本法、学習指導要領	
【事前学修】	教育基本法・学習指導要領についての課題。（2時間）	
【事後学修】	学習指導要領の果たす役割についてまとめる。（2時間）	
第 5 回	教育法規と教育行政	（担当：鴫原）
【学修内容】	学校教育法、教員の任用と服務	
【事前学修】	学校教育法についての課題に取り組む。（2時間）	
【事後学修】	教員の服務についてまとめる。（2時間）	
第 6 回	教育の方法	（担当：鴫原）
【学修内容】	学習指導、児童・生徒理解	
【事前学修】	現在の教育や子どもに関する問題について情報を収集し意見をまとめる。（2時間）	
【事後学修】	児童・生徒理解について方法を考えまとめる。（2時間）	

授業計画	第 7 回	教師Ⅰ	（担当：田中）
	【学修内容】	教師とは、教師の人格・資質	
	【事前学修】	教師の資質とはなにか考えをまとめる。（2時間）	
	【事後学修】	教師に求められる資質・能力を整理し自己の適性を考える。（2時間）	
	第 8 回	教師Ⅱ	（担当：田中）
	【学修内容】	教師の研修、教師の養成、職務内容	
	【事前学修】	教科書より「教員研修の意義」についてまとめる。（2時間）	
	【事後学修】	教員研修の法や制度について考えをまとめる。（2時間）	
	第 9 回	学校運営Ⅰ	（担当：田中）
	【学修内容】	学校組織、担任、校務分掌、チーム学校運営	
	【事前学修】	教科書を参考に「チーム学校とは」なにか考える。（2時間）	
	【事後学修】	栄養教諭は校務分掌の中でどのようなことができるか考える。（2時間）	
	第 10 回	学校運営Ⅱ	（担当：田中）
	【学修内容】	学校と家庭の連携	
	【事前学修】	学校と家庭の連携についての課題を考える。（2時間）	
	【事後学修】	事前学修で考えた課題についてまとめる。（2時間）	
	第 11 回	学校運営Ⅲ	（担当：田中）
	【学修内容】	地域の教育力、異校種間の連携	
	【事前学修】	教科書「開かれた学校と教師」を読み教師の協働について考える。（2時間）	
	【事後学修】	地域との連携による教育活動の意義をまとめる。（2時間）	
	第 12 回	教育改革Ⅰ	（担当：田中）
	【学修内容】	学力、教育内容、評価	
	【事前学修】	教科書「学校評価・教育評価」について目を通しておく。（2時間）	
	【事後学修】	学習指導におけるPDCAサイクルの在り方についてまとめる。（2時間）	
	第 13 回	教育改革Ⅱ	（担当：田中）
	【学修内容】	教育制度、教育行政	
	【事前学修】	教科書「現場から見た教師像」について目を通しておく。（2時間）	
	【事後学修】	教育制度、教育行政についての課題。（2時間）	
	第 14 回	生涯教育	（担当：鴫原）
	【学修内容】	人間の発達と生涯教育、学習方法の開発	
	【事前学修】	生涯学習について調べておく。（2時間）	
	【事後学修】	生涯学習の今後の在り方についてまとめる。（2時間）	
	第 15 回	これからの学校教育	（担当：鴫原）
	【学修内容】	教育の多様性	
	【事前学修】	これからの学校教育について考える。（2時間）	
	【事後学修】	これからの教育についてまとめる。（2時間）	

評価方法	筆記試験（60%）平常点（40%）受講態度、提出物等を加味する。
教科書	これからの教師（高倉翔編、建帛社） 小学校学習指導要領（文部科学省編、東洋館出版社）
参考書 参考資料等	適宜紹介する。
備考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
教育心理学	講義	2	選択		必修	2年・後期	田鍋 佳子
科目コード　SgZAA20803							担当形態：単独

教育の基礎的理解に関する科目	科目に含める必要事項
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。 将来、栄養教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	教育に携わる者は、人間の発達や学習過程についての心理学的知識を持つことが求められる。これらの知識は、目の前にいる子どもたちを適切に理解するためのツールとなり、日々の教育の実践に広がりをもたらす。 本科目では、幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身に付け、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解することを目的とする。
到達目標	① 幼児、児童及び生徒の心身の発達に対する外的及び内的要因の相互作用、発達に関する代表的理論を踏まえ、発達の概念及び教育における発達理解の意義を理解する。 ② 乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について、その具体的な内容を理解する。 ③ 様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解する。 ④ 主体的学習を支える動機付け・集団づくり・学習評価のあり方について、発達の特徴と関連付けて理解する。 ⑤ 幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。
授業の進め方	授業は、配付資料に基づき行う。 毎時間、講義内容に関連した課題を課す。

第　1　回	オリエンテーション／子どもの発達を理解することの意義
【学修内容】	「発達」とは何か、どうやって発達過程を研究するのか、その方法論について理解する。
【事前学修】	自分の体験を振り返りつつ「発達」とは何か、考えて自分の意見をまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
第　2　回	子どもの発達理解（1）身体と運動能力の発達
【学修内容】	生まれる前から出生、そして新生児、乳児、児童の身体機能の発達について理解する。
【事前学修】	可能であれば、自分自身の母子手帳を見直して自身の身体発達について確認しておく。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
第　3　回	子どもの発達理解（2）言語とコミュニケーション能力の発達
【学修内容】	言語習得の過程とコミュニケーションに必要な認知機能の発達について理解する。
【事前学修】	自分の子どもの頃の周囲の大人との会話について、家族に聞き取りをしてまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
第　4　回	子どもの発達理解（3）パーソナリティの発達
【学修内容】	人の性格はどのようにして決まるのか、遺伝的要因と環境的要因について理解する。
【事前学修】	自分の性格を今一度見つめ直し、なぜそうなったのかを自分なりに考えてみる。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
第　5　回	子どもの発達理解（4）認知能力の発達
【学修内容】	認知機能の発達と他者との関わりとの関係について理解する。
【事前学修】	子どもの頃を振り返り、他者との関わり方の変化について自分の意見をまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
第　6　回	子どもの発達理解（5）記憶のメカニズム
【学修内容】	記憶の分類や記憶のメカニズムについて理解する。
【事前学修】	自分なりの「記憶する」時の特徴や習慣について、考えてまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
第　7　回	子どもの発達理解（6）虐待対応と司法面接
【学修内容】	児童虐待の定義とその背景について理解する。
【事前学修】	新聞やニュースを元に児童虐待の具体的な事例を調べ、自分の意見をまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）

授業計画	第　8　回　　子どもの発達理解（7）学習 【学修内容】　「学習」とは何か、そして「学習」のメカニズムについて理解する。 【事前学修】　自分の体験を振り返りつつ「学習」とは何か、考えて自分の意見をまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第　9　回　　子どもの発達理解（8）動機付け 【学修内容】　「動機づけ」が高まるメカニズムについて理解する。 【事前学修】　普段の生活の中で自分の「やる気」を高める方法について考えてまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第　10　回　　他者とのかかわりと子どもの発達（1）アタッチメント 【学修内容】　乳幼児期における養育者との愛着形成がその後の成長に与える影響を理解する。 【事前学修】　自分自身の乳幼児期における身近な大人との関わりについて聞き取りをしておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第　11　回　　他者とのかかわりと子どもの発達（2）仲間関係の理解と支援 【学修内容】　幼少期からの友人関係の変化が自分自身の発達に与える影響について理解する。 【事前学修】　幼児期から現在に至るまで、どのように友人との関わりが変化していたかを見つめ直す。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第　12　回　　他者とのかかわりと子どもの発達（3）学級における教師の役割 【学修内容】　学校生活において教師が子どもの発達に与える影響過程について理解する。 【事前学修】　小中高とこれまでの学校生活を振り返り、直面した様々な問題をまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第　13　回　　他者とのかかわりと子どもの発達（4）社会性の発達 【学修内容】　社会性を発達させる諸要因について理解する。 【事前学修】　自分の体験を振り返りつつ「社会性」とは何か、考えて自分の意見をまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第　14　回　　他者とのかかわりと子どもの発達（5）子どもの不適応とその支援 【学修内容】　学校生活における不適応状態に関わる諸問題と対応について理解する。 【事前学修】　具体的な不適応状態の事例を挙げ、原因と対応について自分の意見をまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第　15　回　　まとめ 【学修内容】　半期間の講義内容を総括し、今後の生活にどのように活かすか議論する。 【事前学修】　半期間の講義を振り返り、自分自身の生活との関わりについて考える。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
評価方法	課題（提出状況・内容充実度）（100%）
教科書	使用しない。
参考書 参考資料等	やさしい発達と学習（外山紀子・外山美樹、有斐閣） やさしい教育心理学（鎌原昌彦、竹綱誠一郎 編、有斐閣） 教育心理学エッセンシャルズ（西村純一・井森澄江 編、ナカニシヤ出版）
備考	特に記載事項なし。

授業科目名		形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
特別支援教育概論		講義	1	選択		必修	2年・前期	安　藤　理恵子
科目コード	ＳｇＺＡＡ10804							担当形態：単独

教育の基礎的理解に関する科目	科目に含める必要事項
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。 特別支援教育の理念や意義、制度（システム）等の基本的事項を理解するとともに、障がいのあるなしにかかわらず幼児、児童生徒一人一人の特別な教育的ニーズに応じた指導及び適切な支援のあり方について理解するよう、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	平成19年度に特殊教育から特別支援教育へ転換したことを踏まえて、特別支援教育の現状を知るとともに、共生社会の実現に向けた保育所・幼稚園・学校の役割やインクルーシブ教育・保育システムについて理解をする。 本講では、国際的な障がい観の変遷や我が国の障がい児教育の歴史を通じて特別支援教育の理念や意義、制度等について理解し、障がいのある子どもや特別な支援を必要とする子どもの指導及び適切な支援の基本に関することについて説明・解説する。
到達目標	①　障がい観の変遷及び特別支援教育の理念や意義、計画的・組織的対応等基本的事項を理解する。 ②　特別支援教育の対象となる子どもの理解と適切な教育的対応について理解する。 ③　障がいはないが気になる子どもの特別な教育的ニーズの把握や適切な対応等について理解する。 ④　専門・関係機関等との連携や保護者支援及び連携のあり方について理解する。
授業の進め方	プレゼンテーションや視覚資料を活用した講義（座学）を中心とするが、授業内容によりグループワーク（協議や作業）及びロールプレイ等を取り入れる。
授業計画	第　1　回　オリエンテーション　障がい観の変遷及び、障がいの有無にかかわらずすべての子どもがともに学び・育ち合う教育を 【学修内容】　障がいの概念の歴史的変化とインクルーシブ教育について学ぶ。 【事前学修】　教科書第1章特別教育の理念と制度を読み、インクルーシブ教育について予習する。（2時間） 【事後学修】　講義内容を復習し、要点となるところや課題等をまとめる。（2時間） 第　2　回　障がい児教育の歴史と制度～特殊教育から特別支援教育への転換～ 【学修内容】　障がい児教育制度や考え方の歴史的変遷を学び、特殊教育から特別支援教育へ転換した背景を理解する。 【事前学修】　教科書第1章特別教育の理念と制度を読み、特殊教育と特別支援教育の違いについてつかんでおく。（2時間） 【事後学修】　講義内容を復習し、要点となるところや課題等をまとめる。（2時間） 第　3　回　特別支援教育の理念、具体的なシステム等について 【学修内容】　特別支援教育の理念と多様な学びの場があることについて学ぶ。 【事前学修】　教科書第2章を読み、特別支援教育の学びの場について大まかにつかんでおく。（2時間） 【事後学修】　講義内容を復習し、要点となるところや課題等をまとめる。（2時間） 第　4　回　障がいに関する基礎知識①（視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、言語障害、情緒障害） 【学修内容】　視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、言語障害、情緒障害の基礎知識を学ぶ。 【事前学修】　教科書第3章を読み、それぞれの障がい特性について大まかにつかんでおく。（2時間） 【事後学修】　講義内容を復習し、要点となるところや課題等をまとめる。（2時間） 第　5　回　障がいに関する基礎知識②（発達障害～自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動性障害、学習障害～） 【学修内容】　発達障害（自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動性障害、学習障害）についての基礎知識を学ぶ。 【事前学修】　教科書第4章を読み、それぞれの障がい特性について大まかにつかんでおく。（2時間） 【事後学修】　講義内容を復習し、要点となるところや課題等をまとめる。（2時間） 第　6　回　障がい等のある子どもの対応・支援～合理的配慮、個別の教育支援計画・指導計画の作成～ 【学修内容】　障がい等のある子どもの対応・支援について具体的な支援、指導計画等について学ぶ。 【事前学修】　教科書第5章第7章を読んで、合理的な配慮、支援計画・指導計画について大まかにつかんでおく。（2時間） 【事後学修】　講義内容を復習し、要点となるところや課題等をまとめる。（2時間） 第　7　回　障がいのない子を含む特別な教育的ニーズを中心とした教育相談や保護者・家族への支援 【学修内容】　特別な教育的ニーズに応えるための支援体制について知る。 【事前学修】　教科書第6章を読んで、支援体制にはどのようなものがあるかつかんでおく。（2時間） 【事後学修】　講義内容を復習し、要点となるところや課題等をまとめる。（2時間）

	第 8 回　障がいのない子を含む特別な教育的ニーズを共有する専門・関係機関（医療・福祉・労働等）との連携　まとめ 【学修内容】　関係機関との連携や、障がいはないが特別な教育的ニーズのある子どもたちの支援について学ぶ。 【事前学修】　教科書第6章第8章を読んで、支援の多様性について知る。（2時間） 【事後学修】　講義内容を復習し、要点となるところや課題等をまとめる。（2時間）
評　価　方　法	定期試験60%、平素の受講態度及び提出物（課題や小レポート等）40%
教　　科　　書	通常学級で活かす特別支援教育概論（柏崎秀子編　ナカニシヤ出版）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	ゼロから学べる特別支援教育～若い教師のための気になる子への支援入門～（青山新吾・長瀬拓哉編著　明治図書出版） 図解よくわかる発達障害の子どもたち：発達障害を考える・心をつなぐ　（榊原洋一著　ナツメ社）
備　　考	毎時間資料を配付する。授業後は内容の整理を行い理解に勧めること。資料からの試験出題がある。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
教育課程論・道徳教育	講義	2	選択		必修	2年・前期	布見道子
科目コード　SgZAA20805							担当形態：単独

	科目に含める必要事項
・教育の基礎的理解に関する科目 ・道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。） ・道徳に関する内容

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必須である。
授業の目的・概要	①　学習指導要領の趣旨について理解し、教育課程編成の意義やその方法を学ぶ。 ②　各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。 ③　道徳教育は、教育の根本精神を踏まえ、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断と行動、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する教育活動であることを理解する。 ④　道徳の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等を理解する。
到達目標	①　学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。 ②　教育課程編成の基本原理及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。 ③　教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントする意義を理解する。 ④　道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解する。
授業の進め方	各回でテーマを設定し、それに沿って授業を行う。 授業において、積極的に発言や質問をする等意欲的な取り組みの姿勢が求められる。
	第　1　回　教育課程とは 【学修内容】　教育課程の意義と編成について学ぶ 【事前学修】　小学校学習指導要領総則第１章を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　改定の経緯および 基本方針について　復習する。（2時間） 第　2　回　学習指導要領Ⅰ 【学修内容】　学習指導要領の目的・ねらいについて学ぶ 【事前学修】　小学校学習指導要領総則　第２章を読む。（2時間） 【事後学修】　教育課程に関する法制 について 復習する 。（2時間） 第　3　回　学習指導要領Ⅱ 【学修内容】　教育内容の具体的な目標・重点について学ぶ 【事前学修】　小学校学習指導要領総則 第３章を読む。（2時間） 【事後学修】　小学校教育の基本と教育課程の役割について復習する 。（2時間） 第　4　回　カリキュラム・マネジメント 【学修内容】　カリキュラム・マネジメントの意義・必要性について学ぶ 【事前学修】　小学校学習指導要領総則 カリキュラム・マネジメントの充実（第一章第1の4）を読む。（2時間） 【事後学修】　カリキュラム ・マネジメントの意義と必要性について 復習する 。（2時間） 第　5　回　学習指導計画 【学修内容】　学習指導計画及び作成について学ぶ 【事前学修】　小学校学習指導要領 教育課程の編成について　４６頁～ 67頁 を読む 。（2時間） 【事後学修】　特色ある教育活動の 編成、展開について復習する。（2時間） 第　6　回　学習指導計画の実際 【学修内容】　具体的な指導計画を参考にねらいや内容について学ぶ 【事前学修】　配付資料 （参考事例）を読む。（2時間） 【事後学修】　参考事例をもとに小学校 学習指導計画作成の目的や内容について復習する。（2時間）

授　業　計　画	第　7　回　　学習指導の工夫 【学修内容】　授業の目的や児童生徒の実態を踏まえた学習指導の工夫について学ぶ 【事前学修】　小学校学習指導要領第３節 教育課程の実施と学習評価 76頁 ～92頁を読む 。　（2時間） 【事後学修】　学習した内容を踏まえ 、学習指導の工夫について考える。（2時間） 第　8　回　　教育課題Ⅰ 【学修内容】　学校教育の目的や目標を踏まえ、学校が取り組むべき教育課題について学ぶ 【事前学修】　今日の学校を取り巻く 課題について考える 。（2時間） 【事後学修】　取り組むべき今日の学校課題 について、優先順位と解決策について考える。　（2時間） 第　9　回　　教育課題Ⅱ 【学修内容】　学校教育の目的や目標を踏まえ学校が取り組むべき教育課題について学ぶ 【事前学修】　前時の学習の続きについて学修する。（2時間） 【事後学修】　他者との意見交換から自分の考えをまとめる。（2時間） 第 10 回　　道徳教育の変遷 【学修内容】　道徳教育の歴史を踏まえ、今日の道徳教育のあり方について考える 【事前学修】　小・中学校で取り組んだ内容を記録する。（2時間） 【事後学修】　道徳教育の歴史と今日の道徳教育のあり方について復習する。（2時間） 第 11 回　　道徳教育の目標 【学修内容】　学習指導要領に基づき、その目標と内容を理解する 【事前学修】　配付資料（小学校学習指導要領特別の教科道徳編）の目標と内容について読む。（2時間） 【事後学修】　学習指導要領 道徳の道徳教育の目標と内容について復習する。（2時間） 第 12 回　　道徳教育の指導計画 【学修内容】　道徳教育の授業の視点及び年間計画作成について学ぶ 【事前学修】　配付資料（年間計画参考事例）を読む 。（2時間） 【事後学修】　年間指導計画作成上の創意工夫について復習する。（2時間） 第 13 回　　学習指導案 【学修内容】　授業指導案作成の留意事項や教材の活用等について学ぶ 【事前学修】　道徳学習指導案作成の題材について検討する。（2時間） 【事後学修】　授業指導案作成を見直し、留意事項や教材などの補足や手直しをする。（2時間） 第 14 回　　学習指導案作成 【学修内容】　実際に授業をすることを想定して学習指導案を作成する 【事前学修】　前時の手直しをする。（2時間） 【事後学修】　他者との意見交換をもとに 自分の考えをまとめる。（2時間） 第 15 回　　道徳性の発達 【学修内容】　子どもの心の成長と道徳性の発達について学ぶ 【事前学修】　子どもの心の成長と道徳教育の必要性 について自分の考えをまとめる。（2時間） 【事後学修】　道徳科指導の配慮事項についてまとめる。（2時間）
評　価　方　法	受講姿勢（関心・意欲・態度）（３０％）、課題取組み（意欲・知識・向上心）（５０％）、小テスト（知識・理解）（２０％）の事項を総合して評価する。
教　　科　　書	小学校学習指導要領（東洋館）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	小学校学習指導要領解説　道徳編（文部科学省　東洋館）
備　　考	実務経験のある教員：札幌市内等の公立学校等における教育に関する実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
特別活動・総合的な学習	講義	1	選択		必修	2年・前期	布見道子
科目コード　SgZAA20901							担当形態：単独

・教育の基礎的理解に関する科目　・道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	科目に含める必要事項
	・特別活動及び総合的な学習の時間に関する内容

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必須である。
授業の目的・概要	① 特別活動は、学校における様々な構成の集団を通じて、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われることを理解する。 ② 学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の３つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つことを学ぶ。 ③ 学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付ける。 ④ 総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指すことを理解する。 ⑤ 各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付ける。
到達目標	① 特別活動の意義、目標及び内容を理解する。 ② 特別活動の指導の内容について特質やねらいを理解する。 ③ 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解する。 ④ 総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現に必要な基礎的な能力を身に付ける。
授業の進め方	各回でテーマを設定しそれに沿って授業を行う。 授業において、積極的に発言や質問をするなど意欲的な取り組みの姿勢が求められる。
授業計画	第 1 回　特別活動とは 【学修内容】　学習指導要領における特別活動の目標及び内容について学ぶ 【事前学修】　小・中学校で実践してきた内容を思い出し、 記録する。（2時間） 【事後学修】　学習指導要領における特別活動の 目標と内容について復習する。（2時間） 第 2 回　特別活動の位置づけ 【学修内容】　教育課程における特別活動の位置づけと各教科との関連について学ぶ 【事前学修】　配付された資料を基に教育課程における特別活動について調べる。（2時間） 【事後学修】　教育課程における特別活動の位置づけと各教科との関連について復習する。（2時間） 第 3 回　特別活動の内容１ 【学修内容】　学級活動・ホームルーム活動の特質とねらいを理解する 【事前学修】　小・中学校で実践してきた学級活動やホームルーム活動について記録する 。（2時間） 【事後学修】　学級活動やホームルームのねらいや特質についてについて振り返る 。（2時間） 第 4 回　特別活動の内容２ 【学修内容】　児童会活動・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質とねらいを理解する 【事前学修】　児童会活動、生徒会活動、クラブ活動 、学校行事について振り返り、内容を記録する。（2時間） 【事後学修】　児童会活動、生徒会活動 、学校行事の特質とねらいについて復習する。（2時間） 第 5 回　総合的な学習の時間とは 【学修内容】　学習指導要領における総合的な学習の時間の意義及び原理について学ぶ 【事前学修】　小・中学校で実践してきた内容を思い出し、記録してくる。（2時間） 【事後学修】　学習指導要領における総合的な学習の時間の意義及び目標について復習する。（2時間） 第 6 回　総合的な学習の時間の役割 【学修内容】　教科を越えて必要な資質・能力の育成の視点について理解する 【事前学修】　提示された課題をもとに総合的な学習の実践例について調べる 。（2時間） 【事後学修】　総合的な学習の目的について復習する。（2時間） 第 7 回　総合的な学習の時間の年間指導計画作成の視点 【学修内容】　各教科等との関連性を図りながら年間指導計画を作成することの重要性と具体的な年間指導計画の事例について学ぶ 【事前学修】　小中学校の年間指導計画を見て感じた事、気づいた事を整理し、まとめる。（2時間） 【事後学修】　年間指導計画の重要性と事例について、復習する 。（2時間）

	第 8 回　総合的な学習の時間の単元計画作成について 【学修内容】　主体的・対話的で深い学びを実現する単元計画を作成することの重要性について具体的な事例等を使い理解する 【事前学修】　提示された総合的な学習の事例から 、主体的・対話的で深い学びについて考える。（1時間） 【事後学修】　今まで学んだ総合的な学習のねらいを踏まえ、今後の指導計画について考える。（1時間）
評　価　方　法	受講姿勢（関心・意欲・態度）（３０％）、課題取組（意欲・知識・向上心）（50％）、小テスト（知識・向上心）（２０％）の事項を総合して評価する。
教　　科　　書	使用しない。
参　　考　　書 参 考 資 料 等	小学校学習指導要領（総合的な学習の時間編 、特別活動編 ） その他授業時に適宜紹介する。
備　　考	実務経験のある教員：札幌市内等の公立学校等における教育に関する実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
教育の方法と技術	演習	2	選択		必修	2年・前期	田　中　ゆかり 中　山　理智恵
科目コード　ＳｇZAB20902							担当形態：オムニバス

道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	科目に含める必要事項
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。 将来、栄養教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	授業をする上で、わかりやすく伝えるにはどうしたらいいかを考え、学校や子どもの実態に応じて工夫・改善を図ることが大切である。子どもたちの育成に必要な教育の方法を理解し、情報機器を活用した効果的な授業や指導技術を身に付けることを目的とする。
到達目標	①　教育方法の基礎的理論と実践、学習評価の考え方を理解している。 ②　授業づくりの技術を高めるために学習指導理論を踏まえ、教材、学習形態等を工夫した学習指導案を作成できる。 ③　子どもたちの興味・関心を高める指導法を理解し、情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。
授業の進め方	授業毎にテーマに沿った講義、演習をし必要に応じてプリント配付を行う。その後、教材を活用した発表を行い、発表後はお互いの相互評価をし改善点を助言する。

第　1　回	オリエンテーション	（担当：田中）
【学修内容】	授業の概要、目標および授業の進め方について説明する。また、日本の学校教育における今日的な課題について考える。	
【事前学修】	シラバスに目を通しておく。日本の学校教育における課題を調べる。（１時間）	
【事後学修】	授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（２時間）	
第　2　回	教育方法の意義と要素	（担当：田中）
【学修内容】	授業づくりで必要な要素について	
【事前学修】	小・中・高校で心に残る授業について、どんな授業だったのか思い出し、レポートにまとめる。（2時間）	
【事後学修】	授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（２時間）	
第　3　回	授業づくりの方法と技術①	（担当：田中）
【学修内容】	発問の仕方と工夫について	
【事前学修】	指示の出し方、発問・説明の工夫について、参考書等で調べる。（2時間）	
【事後学修】	授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（２時間）	
第　4　回	授業づくりの方法と技術②	（担当：田中）
【学修内容】	個への指導の仕方、机間指導について	
【事前学修】	個への指導の仕方、机間指導について、参考書等で調べる。（2時間）	
【事後学修】	授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（２時間）	
第　5　回	授業づくりの方法と技術③	（担当：田中）
【学修内容】	グループ学習、話し合い学習の進め方、アクティブ・ラーニングについて	
【事前学修】	グループ学習、話し合い学習、アクティブ・ラーニングについて、参考書等で調べる。（2時間）	
【事後学修】	授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（2時間）	
第　6　回	授業づくりの方法と技術④	（担当：田中）
【学修内容】	話し合い学習の実践、グループ討論について	
【事前学修】	話し合い学習、グループ討論について復習しておく。（2時間）	
【事後学修】	授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（2時間）	
第　7　回	教材の活用	（担当：田中）
【学修内容】	コンピューターの活用、教材、板書の工夫について	
【事前学修】	コンピューターの活用、教材、板書の工夫について、参考書等で調べる。（2時間）	
【事後学修】	授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（2時間）	

授業計画	第 8 回	実践演習①	（担当：中山）
	【学修内容】	情報機器・教材を活用した指導案の作成	
	【事前学修】	指導案の作成方法を調べ、指導内容に関する資料を集める。（2時間）	
	【事後学修】	授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（2時間）	
	第 9 回	実践演習②	（担当：中山）
	【学修内容】	情報機器・教材を活用した指導案の作成	
	【事前学修】	指導内容に関する資料を集め、ICTを活用した教材研究をする。（2時間）	
	【事後学修】	授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（2時間）	
	第 10 回	実践演習③	（担当：田中）
	【学修内容】	情報機器・教材を活用した指導案の作成	
	【事前学修】	指導内容に関する資料を集め、ICTを活用した教材研究をする。（2時間）	
	【事後学修】	授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（3時間）	
	第 11 回	実践演習④	（担当：田中）
	【学修内容】	作成した指導案に基づく模擬授業の実践、相互評価と講評	
	【事前学修】	作成した指導案に基づき、模擬授業の練習をしておく。（2時間）	
	【事後学修】	授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（2時間）	
	第 12 回	実践演習⑤	（担当：田中）
	【学修内容】	作成した指導案に基づく模擬授業の実践、相互評価と講評	
	【事前学修】	作成した指導案に基づき、模擬授業の練習をしておく。（2時間）	
	【事後学修】	授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（2時間）	
	第13 回	実践演習⑥	（担当：田中）
	【学修内容】	作成した指導案に基づく模擬授業の実践、相互評価と講評	
	【事前学修】	作成した指導案に基づき、模擬授業の練習をしておく。（2時間）	
	【事後学修】	授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（2時間）	
	第 14 回	作成した指導案の反省、まとめ（子どもたちの情報活用能力を育成するための指導法を理解できたか）	（担当：田中）
	【学修内容】	ICTを活用した授業改善、情報活用能力の育成について	
	【事前学修】	模擬授業についてふりかえり、反省点や課題、改善方法を考える。（2時間）	
	【事後学修】	子どもたちの情報活用能力を育成するための指導法について、参考書等で調べる。（2時間）	
	第 15 回	まとめ	（担当：田中）
	【学修内容】	授業のふりかえり	
	【事前学修】	これまでの授業について、配付資料や参考書等をもとにふりかえる。（2時間）	
	【事後学修】	子どもたちの興味・関心を高める指導法、ICTを授業に生かす方法についてまとめる。（2時間）	

評価方法	指導案（簡易）及びレポート提出（40%）、発表の内容（40%）、平常点（20%）平素の受講態度等を加味する。
教科書	使用しない。
参考書 参考資料等	食育の授業づくり（北俊夫、建学社） ICT活用指導力アップ！教育の情報化（梅田恭子他　実教出版株式会社） 小学校学習指導要領 教育の方法と技術（平沢茂編著、図書文化）
備考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
生徒指導論・教育相談	講義	2	選択		必修	2年・後期	盛合 直人
科目コード　SgZAA20903							担当形態：単独

道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	科目に含める必要事項
	・生徒指導の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。 教師としての意識で児童生徒とどのように接したらよいかを自問しながら積極的な姿勢で受講すること。
授業の目的・概要	① 生徒指導と教育相談についてよく理解し、児童生徒の人格形成について学ぶ。 ② 児童生徒の変化を感知し、児童生徒が抱える課題の発見と解決について学ぶ。 ③ 児童生徒との共感的人間関係の構築、児童生徒の自己受容を促す方法を学ぶ。 ④ 児童生徒が抱える課題を解決に導くために関係機関と連携する方策を学ぶ。 ⑤ 課題や問題の発生を事前に察知し、未然に防ぐ方策を学ぶ。
到達目標	① 生徒指導及び教育相談を理解し、その違いが分かる。 ② 児童生徒が抱える課題の要因を探る方法と解決策について理解する。 ③ 児童生徒との共感的人間関係の構築、児童生徒の自己受容について理解する。 ④ 課題を的確に察知し、問題行動等の防止や早期解決の方策を学ぶ。
授業の進め方	各回、テーマを設定し授業を行う。 授業中は様々な発問をするので、進んで発言をする等意欲的な取り組みの姿勢が求められる。

第 1 回　生徒指導とは
【学修内容】　生徒指導と教育相談の違い及び授業の方針を理解する
【事前学修】　事前に生徒指導と教育相談について調べておく。（2時間）
【事後学修】　生徒指導と教育相談の実態や有効性について復習する。（2時間）

第 2 回　教育相談とは
【学修内容】　教育相談の定義及び児童・生徒理解について学ぶ
【事前学修】　教育相談の意義や定義について調べておく。（2時間）
【事後学修】　教育相談が生徒理解にどのように繋がるのか考察する。（2時間）

第 3 回　問題行動を理解
【学修内容】　問題となる行動の定義及び分類を理解する
【事前学修】　児童生徒の問題行動について事前に調べておく。（2時間）
【事後学修】　問題行動の実態の分類を整理する。（2時間）

第 4 回　問題行動の対策
【学修内容】　問題行動の防止と対策について学ぶ
【事前学修】　問題行動に対する防止策や対策を考えておく。（2時間）
【事後学修】　学習を通して自分の考えをまとめ、理解を深める。（2時間）

第 5 回　問題行動の対応
【学修内容】　問題行動に対する指導体制と対応について学ぶ
【事前学修】　問題行動に対する指導体制について事前に調べておく。（2時間）
【事後学修】　指導体制と適切な対応の在り方について理解を深める。（2時間）

第 6 回　いじめ問題を理解
【学修内容】　いじめの定義及びいじめの構造等を理解する
【事前学修】　いじめとは何か、また発生する構造を事前に考えておく。（2時間）
【事後学修】　いじめの定義とその構造について理解を深める。（2時間）

第 7 回　いじめ問題の対応
【学修内容】　いじめ問題の対応の要点及び児童生徒のケアについて学ぶ
【事前学修】　いじめに対する対応と児童生徒のケアはどうあるべきか事前に考えておく。（2時間）
【事後学修】　いじめの対応策や児童生徒のケアの在り方について理解を深める。（2時間）

授業計画	第 8 回　幼少年期の課題 【学修内容】　幼少年期の子どもの発達段階の特徴を理解し、対応について学ぶ 【事前学修】　子どもの発達段階とはどのような特徴があるのか事前に調べておく。（2時間） 【事後学修】　子どもの発達段階の違いや特徴を知り、対応の違いを理解する。（2時間） 第 9 回　青年期の課題 【学修内容】　青年期の子どもの理解と対応について学ぶ 【事前学修】　青年期の子どもの特徴について事前に調べておく。（2時間） 【事後学修】　青年期の子どもの特徴を理解し、対応について理解を深める。（２時間） 第10 回　教育相談の理論 【学修内容】　教育相談の意義と方法について学ぶ 【事前学修】　教育相談とはどんなものか事前に調べておく。（2時間） 【事後学修】　教育相談の意義と重要性について理解する。（2時間） 第 11 回　教育相談の基礎 【学修内容】　教育相談の方法と取り組み方について学ぶ 【事前学修】　教育相談がどのように行われているか調べておく。（2時間） 【事後学修】　教育現場での実際の取り組みを通し理解を深める。（2時間） 第12 回　教育相談の姿勢 【学修内容】　課題を抱える子どもたちに向かう支援者の姿を考える 【事前学修】　子どもたちがどのような悩みを抱えているか調べておく。（2時間） 【事後学修】　子どもたちに対する支援者のあるべき姿勢の理解を深める。（2時間） 第13 回　教育相談の体制 【学修内容】　教育相談の体制と業務について学ぶ 【事前学修】　教育現場における教育相談の様子を調べておく。（2時間） 【事後学修】　教育相談の体制と業務の理解を深める。（2時間） 第14 回　スクールカウンセラーの仕事 【学修内容】　スクールカウンセラー及びコーディネーターの役割を理解する 【事前学修】　スクールカウンセラーとコーディネーターについて事前に調べておく。（2時間） 【事後学修】　それぞれの仕事の違いを理解し、役割の重要性を理解する。（2時間） 第15 回　カウンセラーの姿勢 【学修内容】　あるがままの自分を愛するということを理解する 【事前学修】　自己理解とは何か事前に考えておく。（2時間） 【事後学修】　自己肯定する考え方について理解を深める。（2時間）
評価方法	受講姿勢（関心・意欲・態度）（20%）、課題取組（意欲・知識・向上心）（40%）、 ポートフォリオ・発表（知識・向上心）（40%）を総合的に評価する。
教科書	使用しない。
参考書 参考資料等	生徒指導提要（文部科学省編、教育図書）
備考	実務経験のある教員：札幌市内等の公立学校等における教育に関する実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
教職実践演習	演習	2	選択		必修	2年・後期	嶋原 正世 田中 ゆかり
科目コード　SgZAB31001							担当形態：複数

教育実践に関する科目	科目に含める必要事項
	教育実践演習

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。 栄養教育実習を履修し、単位を修得した者に限る。
授業の目的・概要	教職の意義や栄養教諭の役割を理解し、「食に関する研究授業」の反省等実習を通して学んだ「教育に関する資質」と「栄養に関する専門性」を備えた栄養教諭として食教育をしていくためには、児童・生徒との関わり、地域との連携は、どうあるべきかを修得する。
到達目標	① 食に関する指導の意義や目標を理解し、子どもの特性や状況に応じた栄養教諭の専門性を活かした授業ができる。 ② 教職の意義や栄養教諭の役割を理解し、子どもの成長や健康・安全を考え行動することができる。 ③ 子どもの発達段階や心身の状況に応じて適切な指導を行うことができる。 ④ 他の教職員と協力して職務を遂行することができる。また、保護者や地域の関係者とも連携を図ることができる。
授業の進め方	講義、フィールドワーク等を行い、個別研究・研究発表・グループ討議を行う。 教師としての今後の目標や課題について、まとめる力を養う。

第 1 回　オリエンテーション
【学修内容】　教職実践演習の意義・目的・内容
【事前学修】　栄養教育実習の振り返りから各自の課題を確認する。（0.5時間）
【事後学修】　講義のまとめ・各自課題への取り組みの計画を考える。（0.5時間）
第 2 回　個別研究①
【学修内容】　学習指導案作成　目的
【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間）
【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間）
第 3 回　個別研究②
【学修内容】　学習指導案作成　本時の流れ
【事前学修】　研究授業の指導案修正。（0.5時間）
【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間）
第 4 回　個別研究③
【学修内容】　学習指導案作成　細案・板書計画
【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間）
【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間）
第 5 回　個別研究④
【学修内容】　学習指導案作成　評価
【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間）
【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間）
第 6 回　発表①
【学修内容】　発表・グループ討議　発表方法
【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間）
【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間）

授　業　計　画	第 7 回　発表② 【学修内容】　発表・グループ討議　媒体活用法 【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 8 回　発表③ 【学修内容】　発表・グループ討議　課題の解決法 【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 9 回　発表④ 【学修内容】　発表・グループ討議　全体のまとめ 【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 10 回　フィールドワーク① 【学修内容】　学校給食の現状調査・食指導の実際 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 11 回　グループ研究① 【学修内容】　学校給食についてグループディスカッション 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 12 回　フィールドワーク② 【学修内容】　食材料の流通調査 【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 13 回　グループ研究② 【学修内容】　地場産物の知識 【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 14 回　グループ研究③ 【学修内容】　地場産物の活用法 【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 15 回　グループ研究④ 【学修内容】　食育活動　指導案作成 【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 16 回　グループ研究⑤ 【学修内容】　食育活動　媒体等指導方法の研究 【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 17 回　グループ研究⑥ 【学修内容】　食育活動　模擬授業 【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 18 回　グループ研究⑦ 【学修内容】　食育活動の実際（地域との連携） 【事前学修】　地域の食文化・教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 19 回　グループ研究⑧ 【学修内容】　食育活動の実際（対象者を考慮した指導） 【事前学修】　地域の食文化・教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 20 回　グループ研究⑨ 【学修内容】　食育活動の反省・今後の課題 【事前学修】　地域の食文化・教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 21 回　個別研究⑤ 【学修内容】　給食を教材とした食に関する指導　指導案作成 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間）

	第 22 回　個別研究⑥ 【学修内容】　給食を教材とした食に関する指導　献立作成 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 23 回　個別研究⑦ 【学修内容】　給食を教材とした食に関する指導　指導媒体作成 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 24 回　個別研究⑧ 【学修内容】　給食を教材とした食に関する指導案　細案作成 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 25 回　発表⑤ 【学修内容】　給食時間の個別研究発表　内容検討 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 26 回　発表⑥ 【学修内容】　給食時間の個別研究発表　発表方法 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 27 回　発表⑦ 【学修内容】　給食時間の個別研究発表　評価 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 28 回　発表⑧ 【学修内容】　給食を教材とした食に関する指導案グループディスカッション 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 29 回　まとめ① 【学修内容】　授業の振り返り 【事前学修】　栄養教育・食育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 30 回　まとめ② 【学修内容】　今後の課題・研究に向けて 【事前学修】　栄養教育・食育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　全講義の振り返り・これからの取り組みに向けて。（0.5時間）

評価方法	レポート、個別研究、発表等を総合的に評価する（90%）、平常点（10%）
教科書	使用しない。
参考書 参考資料等	栄養教諭論　理論と実際（金田雅代編著、建帛社）、小学校学習指導要領（文部科学省編、東洋館出版社）
備考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
栄養教育実習	実習	2	選択		必修	2年・前期	田　中　ゆかり
科目コード　SgZAC31002							担当形態：単独

教育実践に関する科目	科目に含める必要事項
	栄養教育実習（学校体験活動）

受講する上での注意事項	１年生で開講されている栄養教諭要件単位の全てを修得し、さらに実習内規細則に定める給食実習Ⅲの履修要件を満たさなければ、本科目を受講できない。積極的な態度で受講することが望まれる。
授業の目的・概要	栄養教諭は、教育に関する資質と栄養に関する専門性を併せ持ち、次代の担い手である児童生徒に対し、望ましい食習慣を身に付けるために必要とされる専門領域の指導を行う教員である。 本講は、栄養教育の基礎的な知識と応用力を身に付けた上で、学外実習（小学校での実習）１単位と事前・事後指導１単位で構成される。 事前指導として、栄養教諭としての使命、職務内容を把握させた上で、「栄養教育実習」の意義、目的、心構えを自覚させ、指導案の作成方法、研究授業の進め方、評価の方法、実習ノートや報告書の作成方法等について演習形式で総合的に修得させる。事後指導として、実習反省会を通し問題点を整理・今後の課題を明確化させる。
到達目標	①　学習指導要領及び児童の実態を踏まえた適切な学習指導案の作成方法が分かり、具体的に内容を設定して指導案を作成することができる。 ②　学習指導に必要な基本的技術を身につけ、適切な場面で情報機器や媒体を活用できる。 ③　学校組織の中で栄養教諭の位置づけ、役割を学び職務内容を理解する。 ④　教科指導以外の様々な活動場面においても適切に児童と関わることができる。 ⑤　教科、学級活動、給食時間における食に関する指導案の立案・作成・指導ができる。
授業の進め方	小学校の実態を踏まえ、食指導にかかわるテーマに沿って指導案を作成する。 作成した指導案を基に、模擬授業を行い、検討し、より良い授業の構成を図る。 事前指導を学んだ後、小学校で実習を行う。

第　1　回	オリエンテーション
【学修内容】	栄養教育実習の意義と目的、栄養教育実習の心得
【事前学修】	栄養教育実習意義や目的について考えまとめる。（0.5時間）
【事後学修】	栄養教育実習に向けての心構えをまとめる。（0.5時間）
第　2　回	実習内容指導①
【学修内容】	学校校務分掌における栄養教諭の役割と職務内容
【事前学修】	栄養教育実習で学ぶ内容をまとめておく。（0.5時間）
【事後学修】	栄養教育実習に向けて課題をまとめる。（0.5時間）
第　3　回	実習内容指導②
【学修内容】	研究テーマ・実習校との打ち合わせについて
【事前学修】	研究テーマを考察し、実習校との打ち合わせの内容をまとめておく。（0.5時間）
【事後学修】	実習校との打ち合わせを基に栄養教育実習に向けての準備（0.5時間）
第　4　回	給食時間の指導案作成①
【学修内容】	給食時間の指導案作成
【事前学修】	給食時間の指導案に関する資料を集める。（0.5時間）
【事後学修】	指導案の見直しを行う。（0.5時間）
第　5　回	給食時間の指導案作成②
【学修内容】	給食時間の指導案（媒体・板書計画）
【事前学修】	給食時間の指導案に使用する媒体など準備する。（0.5時間）
【事後学修】	給食時間における食指導の特徴や指導の進め方についてまとめる。（0.5時間）
第　6　回	模擬授業①
【学修内容】	給食時間の授業の進め方・指導効果の評価
【事前学修】	給食時間における食に関する指導内容について模擬授業の練習をする。（0.5時間）
【事後学修】	模擬授業の評価をまとめ指導案を考察する。（0.5時間）
第　7　回	模擬授業②
【学修内容】	授業検討会
【事前学修】	給食時間における食に関する指導内容について模擬授業の練習をする。（0.5時間）
【事後学修】	模擬授業の評価をまとめ指導案を考察する。（0.5時間）

授　業　計　画	第　8　回　　食に関する指導案の作成① 【学修内容】　特別活動における指導案の作成 【事前学修】　特別活動の指導案に関する資料を準備する。（0.5時間） 【事後学修】　指導案の作成ポイントを振り返る。（0.5時間） 第　9　回　　食に関する指導案の作成② 【学修内容】　特別活動における指導案（媒体・板書計画） 【事前学修】　特別活動の指導案に使用する媒体など準備する。（0.5時間） 【事後学修】　特別活動における指導の特徴や進め方についてまとめる。（0.5時間） 第 10 回　　模擬授業① 【学修内容】　特別授業の授業の進め方・指導効果の評価 【事前学修】　特別活動における食に関する指導内容について模擬授業の練習をする。（0.5時間） 【事後学修】　模擬授業の評価をまとめ指導案を考察する。（0.5時間） 第 11 回　　模擬授業② 【学修内容】　特別活動における情報機器の活用法 【事前学修】　特別活動における食に関する指導内容について模擬授業の練習をする。（0.5時間） 【事後学修】　模擬授業の評価をまとめ指導案を考察する。（0.5時間） 第 12 回　　模擬授業③ 【学修内容】　授業検討会 【事前学修】　特別活動における食に関する指導内容について模擬授業の練習をする。（0.5時間） 【事後学修】　模擬授業の評価をまとめ指導案を考察する。（0.5時間） 第 13 回　　教育実習の実際 【学修内容】　実習日誌ついて 【事前学修】　実習ノートを熟読し記載内容の確認を行う。（0.5時間） 【事後学修】　栄養教育実習に向けて取り組むことを整理する。（0.5時間） 第 14 回　　直前指導　教育実習 【学修内容】　教育実習に向けての確認事項 【事前学修】　実習ノートを熟読し記載内容の確認を行う。（0.5時間） 【事後学修】　栄養教育実習に向けて取り組むことを整理する。（0.5時間） 教育実習 ＜学外実習＞ ・学校経営・校務分掌の理解、服務 ・児童への個別的な相談指導について ・学級活動及び給食時間における指導・参観 ・教科等における担任等と連携した指導の参観 ・指導計画・指導案の立案作成、教材研究 ・食に関する指導の連携調整の実習 ＊実習１日につき 【事前学修】　実習内容等の基礎的知識を予習する。（0.5時間） 【事後学修】　実習ノートの整理と実習で学んだ知識技術等を復習する。（0.5時間） 第 15 回　　教育実習反省報告会 【学修内容】　教育実習の振り返り・反省・今後の課題、実習報告書作成 【事前学修】　報告書を作成する。（0.5時間） 【事後学修】　報告会を通してこれからの自分の課題について整理する。（0.5時間）
評　価　方　法	実習校評価（30%）　実習日誌（30%）事前授業課題（提出物・事前授業等）（30%）実習報告書（10%）
教　　科　　書	小学校学習指導要領（文部科学省編、東洋館出版社） 栄養教諭論理論と実際（金田雅代編著　建帛社）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	必要に応じ資料等を配付する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
調理科学演習	演習	2	選択			2年・後期	木野村　美花
科目コード　SgZZB21101							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	積極的な態度で受講することが望まれる。
授業の目的・概要	元来調理技術は、コツや勘、感覚等先人が長年に渡り培ってきた経験を伝承し、受け継がれてきたものである。また食材に適した調理は、その特性を最大限に引き出し、嗜好を満足させ、健康の維持・増進にもつながる。 本科目では、科学的な裏付けによる食品の調理特性について、講義・実習を通して体系的に学修する。
到達目標	科学的な裏付けによる食品の調理特性について理解し、実際の調理につなげることができる。
授業の進め方	講義：配付プリント等を中心に授業を進める。 実習：講義で学んだ内容について実習する。

第　1　回　　オリエンテーション
【学修内容】　授業概要、調理科学について
【事前学修】　シラバスにて授業内容等を確認しておく。（2時間）
【事後学修】　オリエンテーションの内容や配付プリントを復習し、課題に取り組む。（２時間）
第　2　回　　植物性食品の特性と調理科学①
【学修内容】　食品の色に関する実験
【事前学修】　教科書等で天然色素について調べる。（２時間）
【事後学修】　授業内容及び配付プリントを復習する。（２時間）
第　3　回　　植物性食品の特性と調理科学①
【学修内容】　食品の色に関する実験
【事前学修】　教科書等で天然色素について調べる。（２時間）
【事後学修】　授業内容及び配付プリントを復習する。（２時間）
第　4　回　　植物性食品の特性と調理科学②
【学修内容】　豆類および穀類の特性
【事前学修】　教科書等で豆類および穀類について調べる。（２時間）
【事後学修】　授業内容及び配付プリントを復習する。（２時間）
第　5　回　　植物性食品の特性と調理科学②
【学修内容】　豆類および穀類の特性
【事前学修】　教科書等で豆類および穀類について調べる。（２時間）
【事後学修】　授業内容及び配付プリントを復習する。（２時間）
第　6　回　　調理科学の応用①
【学修内容】　乳・乳製品の特性
【事前学修】　教科書等で乳・乳製品について調べる。（２時間）
【事後学修】　授業内容及び配付プリントを復習する。（２時間）
第　7　回　　調理科学の応用①
【学修内容】　乳・乳製品の特性
【事前学修】　教科書等で乳・乳製品について調べる。（２時間）
【事後学修】　授業内容及び配付プリントを復習する。（２時間）

授業計画	第 8 回　調理科学の応用② 【学修内容】　穀類（北海道米）の特性 【事前学修】　教科書等で北海道米について調べる。（2時間） 【事後学修】　授業内容及び配付プリントを復習する。（2時間） 第 9 回　調理科学の応用② 【学修内容】　穀類（北海道米）の特性 【事前学修】　教科書等で北海道米について調べる。（2時間） 【事後学修】　授業内容及び配付プリントを復習する。（2時間） 第 10 回　調理科学の応用③ 【学修内容】　穀類（小麦粉）の特性 【事前学修】　教科書等で小麦粉について調べる。（2時間） 【事後学修】　授業内容及び配付プリントを復習する。（2時間） 第 11 回　調理科学の応用③ 【学修内容】　穀類（小麦粉）の特性 【事前学修】　教科書等で小麦粉について調べる。（2時間） 【事後学修】　授業内容及び配付プリントを復習する。（2時間） 第 12 回　官能評価 【学修内容】　比較法および順位法による食品の評価 【事前学修】　教科書等で官能評価について調べる。（2時間） 【事後学修】　授業内容及び配付プリントを復習する。（2時間） 第 13 回　調理科学理論に基づいたレシピ考案 【学修内容】　調理科学理論に基づいたレシピを作成する。 【事前学修】　レシピ作成のための資料を取集する。（2時間） 【事後学修】　作成したレシピの見直しを行う。（2時間） 第 14 回　調理科学理論に基づく調理実践 【学修内容】　考案レシピ実施 【事前学修】　調理科学に基づくレシピを作成する。（2時間） 【事後学修】　授業内容及び配付プリントを復習する。（2時間） 第 15 回　調理科学理論に基づく調理実践 【学修内容】　考案レシピ実施 【事前学修】　調理科学に基づくレシピを作成する。（2時間） 【事後学修】　授業内容及び配付プリントを復習する。（2時間）
評価方法	平常点（80%）、提出物（10%）、平素の受講態度等（10%）を加味する。
教科書	プリント教材
参考書 参考資料等	食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） ほか、適宜紹介する。
備考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
フードコーディネート論	演習	2	選択			2年・後期	遠田 悦子
科目コード　SgZZB21102							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	積極的な態度で受講することが望まれる。
授業の目的・概要	現在、多くの生活情報が氾濫している中で、食生活においては、消費者の安全志向、健康志向、簡便性志向、食の質向上志向が高まり、おいしく調理できる食物、快適な食卓の整え方等、食生活情報の提供と情報の正しい選択が強く求められている。 このような現状を背景として、本論では、食の分野の専門職を目指し、食物自体の栄養やおいしさだけでなく、食べる人の体調やその食物に対する心情、食べる環境等が関わる総合的な場面を構築するため、食物のおいしさについての基礎的な知識を修得し、メニュープランニングやサービスマナー等を含め、食全体にわたる実践的知識を身に付ける。
到達目標	① 生理的・心理的な影響について学修し、おいしさの本質を理解する。 ② 日本の食文化史と行事食、郷土料理について基礎知識を身に付ける。 ③ 世界各国の食及び食習慣、食物禁忌等を学修し、日本の食と外国との相違点等を理解する。 ④ 日本及び世界の食様式とマナーを学修し、実践的なメニュープランニングやコーディネートができる。
授業の進め方	教科書を中心に進め、参考資料、プリントの配付と取り組み、映像資料等の活用を行い授業を展開する。

第 1 回	フードコーディネートとは
【学修内容】	現代における食にまつわる問題点
【事前学修】	新聞をはじめとした各メディアの記事から食にまつわる話題に目を通す。（2時間）
【事後学修】	授業で扱った内容について自分の意見をまとめる。（2時間）
第 2 回	フードコーディネートの基本理念
【学修内容】	おいしさとは
【事前学修】	「おいしい」とはどういうことか、教科書の1章の内容を中心に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】	より多くの人に「美味しい」と言っていただけるにはどんなことが必要かまとめる。（2時間）
第 3 回	食事文化とその課題　Ⅰ
【学修内容】	日本の食文化と年中行事
【事前学修】	日本の行事にはどのようなものがあるか予習しておく。（2時間）
【事後学修】	興味を持った年中行事について、調べを深める。（2時間）
第 4 回	食事文化とその課題　Ⅱ
【学修内容】	日本の食事文化の創造と変容
【事前学修】	数多くある日本の料理のルーツを調べる。（2時間）
【事後学修】	日本の食事文化の特徴をまとめる。（2時間）
第 5 回	世界の食事文化　Ⅰ
【学修内容】	食文化と食物禁忌
【事前学修】	宗教にまつわる食物禁忌とは何か予習しておく。（2時間）
【事後学修】	食物禁忌はなぜ生まれたのか、授業の内容を参考に自分の考えをまとめる。（2時間）
第 6 回	世界の食事文化　Ⅱ
【学修内容】	各国の料理様式
【事前学修】	日本と国外の料理様式について教科書5章を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	教科書に出てくる各国の献立例から、わからない料理を調べてまとめる。（2時間）
第 7 回	テーブルウェアーと食卓の演出　Ⅰ
【学修内容】	食器、食具
【事前学修】	日本と世界の器の違いについて調べておく。（2時間）
【事後学修】	日本の食具の特徴を授業内容からまとめる。（2時間）

授　業　計　画	第 8 回　テーブルウェアーと食卓の演出　Ⅱ 【学修内容】　テーブルセッティング 【事前学修】　季節や行事によるセッティングの基本を予習する。（２時間） 【事後学修】　各国の料理様式の使用する食器類について特徴をまとめる。（２時間） 第 9 回　食卓のサービスとマナー　Ⅰ 【学修内容】　基本と日本料理 【事前学修】　サービスとマナーの基本理念を教科書４章を読み、予習する。（２時間） 【事後学修】　日本の食事作法の成り立ちなどを調べてまとめる。（２時間） 第 10 回　食卓のサービスとマナー　Ⅱ 【学修内容】　西洋料理と中国料理 【事前学修】　西洋と中国料理におけるサービスとマナーの違いについて、教科書に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　サービスとマナーの国際化について考察する。（２時間） 第 11 回　食空間のコーディネート 【学修内容】　食事における色の役割 【事前学修】　色による食欲や評価などへの影響を、教科書から探して目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　食事場所や料理の盛り付け等、効果的な色使いについて使用テキストを参考に考察する。（２時間） 第 12 回　現代の食環境 【学修内容】　変わりゆく食卓 【事前学修】　現代社会において、食に関して問題になっている事柄を箇条書きにする。（２時間） 【事後学修】　授業で取り上げた食に関する問題点についての感想をまとめる。（２時間） 第 13 回　食企画の実践コーディネートⅠ 【学修内容】　食企画の構成と役割 【事前学修】　授業で学んだ各国料理の献立構成の復習として、配付プリントや教科書に目を通す。（２時間） 【事後学修】　食企画に必要なスキルについてまとめる。（２時間） 第 14 回　食企画の実践コーディネートⅡ 【学修内容】　第１３回目で学んだ内容について具体的に計画する。 【事前学修】　前回の内容の復習と具体案を考える。（２時間） 【事後学修】　具体案の内容を確認、修正。（２時間） 第 15 回　まとめ 【学修内容】　授業で学んだ事柄を食企画の構成としてまとめる。 【事前学修】　授業全般で配付、実施したプリント類を整理し、目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業を終えてみて疑問に思ったことや、さらに深めてみたいことを見つけて調べる。（２時間）
評　価　方　法	筆記試験（80%）、提出物等（10%）、平常点（10%）平素の受講態度等を加味する。
教　　科　　書	フードコーディネート論（日本フードスペシャリスト協会編、建帛社） たのしい！おいしい！テーブル・カラー・コーディネート（日本色研事業）
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する 。
備　　考	特に記載事項なし。